

## 4. 道路啓開の対応行動

### 4.1 啓開ルートの選定

#### (1) 啓開ルートの選定方針

道路啓開の基本的な考え方（7つのコンセプト）に従って、表 4.1 に優先啓開ルートの選定基準を、図 4.1 に道路啓開のステップ（優先順位）のイメージ図を示す。

同図表に示すように、資機材や人的リソースを集中し、STEP1～STEP2 の時点で被災地に対して速やかにアクセスすることを目標とする。

表 4.1 優先啓開ルートの選定基準

ステップ	定義
STEP1	<p>【県外からの高速道路～広域防災拠点（救援部隊、医療救護）までのルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外から、支援ゾーン内の被災地(震度 6 強以上の地域)にできるだけ近いところにある広域防災拠点（救援部隊、医療救護）までのルートで、発災後 12 時間以内で到達（啓開）できるルート。</li> <li>・支援ゾーン（広域防災拠点）の設定ならびに広域防災拠点までのルートは、千葉県災害対策本部事務局が、道路種別を問わず走行可能なルートを選定する。</li> <li>・県土整備部災害対策事務局としては、基本的に緊急輸送ルートでの広域防災拠点アクセスルートを選定する。</li> </ul>
STEP2	<p>【広域防災拠点（救援部隊、医療救護）から被災地までのルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域防災拠点から被災地域へ、発災後 48 時間以内で到達（啓開）できるルート。</li> <li>・被災地（要救助地域、孤立支援など）側の道路啓開調査結果と密接に関連するため、県土整備部災害対策事務局が現地災害対策班と連携し、ルート選定を行う。</li> </ul>
STEP3	<p>【被災地内の交通機能を確保するルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に甚大な被害を被った地域へ、発災後 72 時間以内で到達（啓開）できるルート。</li> <li>・地元関係機関との密な調整が必要であるため、県土整備部災害対策事務局がルート選定を行う。</li> </ul>

※ 啓開ルート（STEP1～STEP3）以外の緊急輸送道路区間については、緊急物資の支援や復旧に向けて必要な拠点を結ぶルートであるため、啓開ルート（STEP3）への対応が済み次第、順次啓開する。

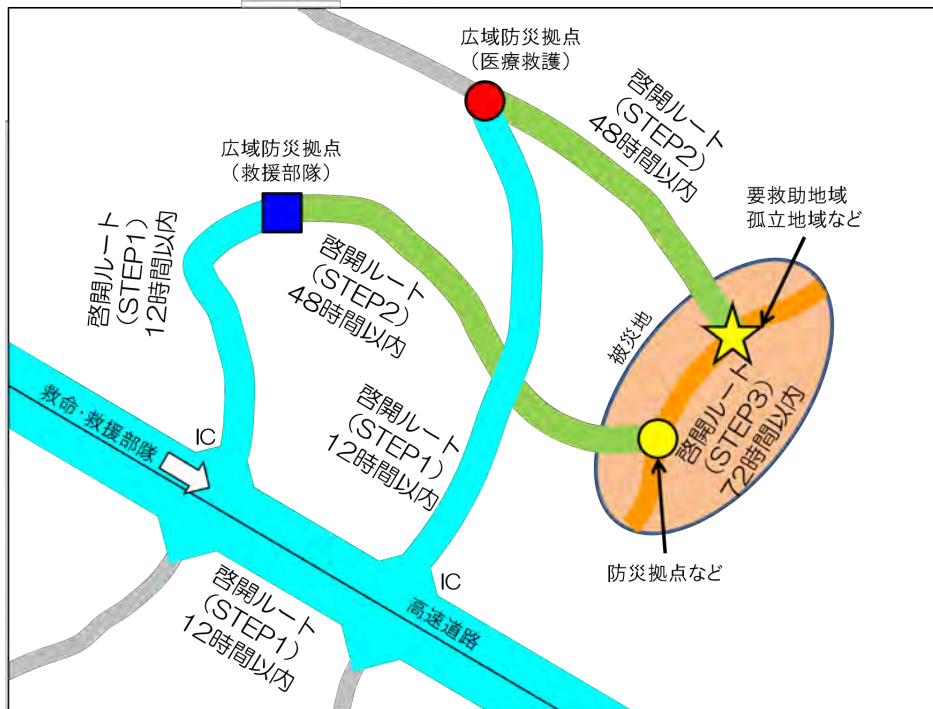


図 4.1 道路啓開のステップ（優先順位）のイメージ

## (2) 啓開候補ルート

(1)に示す啓開ルートの選定方針に従い、被災地を効果的に支援するためにあらかじめ定めた県内7つのゾーンそれぞれについて、想定災害別の啓開ルート案を設定した。

本項では、想定災害全てが発災した合成した場合(合成ケース)の啓開候補ルートを設定した(図4.2に合成ケースのイメージを示す)。なお、広域防災拠点の選定は、「大規模災害時応援受援計画」にて<sup>※</sup>想定災害毎に選定されている拠点の内、合成ケースでも被災地内に位置しない拠点を抽出した(表4.2に各被災ケースにおける広域防災拠点の選定結果を示す)。啓開ルートはSTEP別土木事務所別に区間を設定し、その内啓開作業を要する区間について、啓開日数、啓開人数、被災想定別啓開量(想定災害の内最大値)を示す。なお、想定災害別の啓開ルートは資料編に示す。

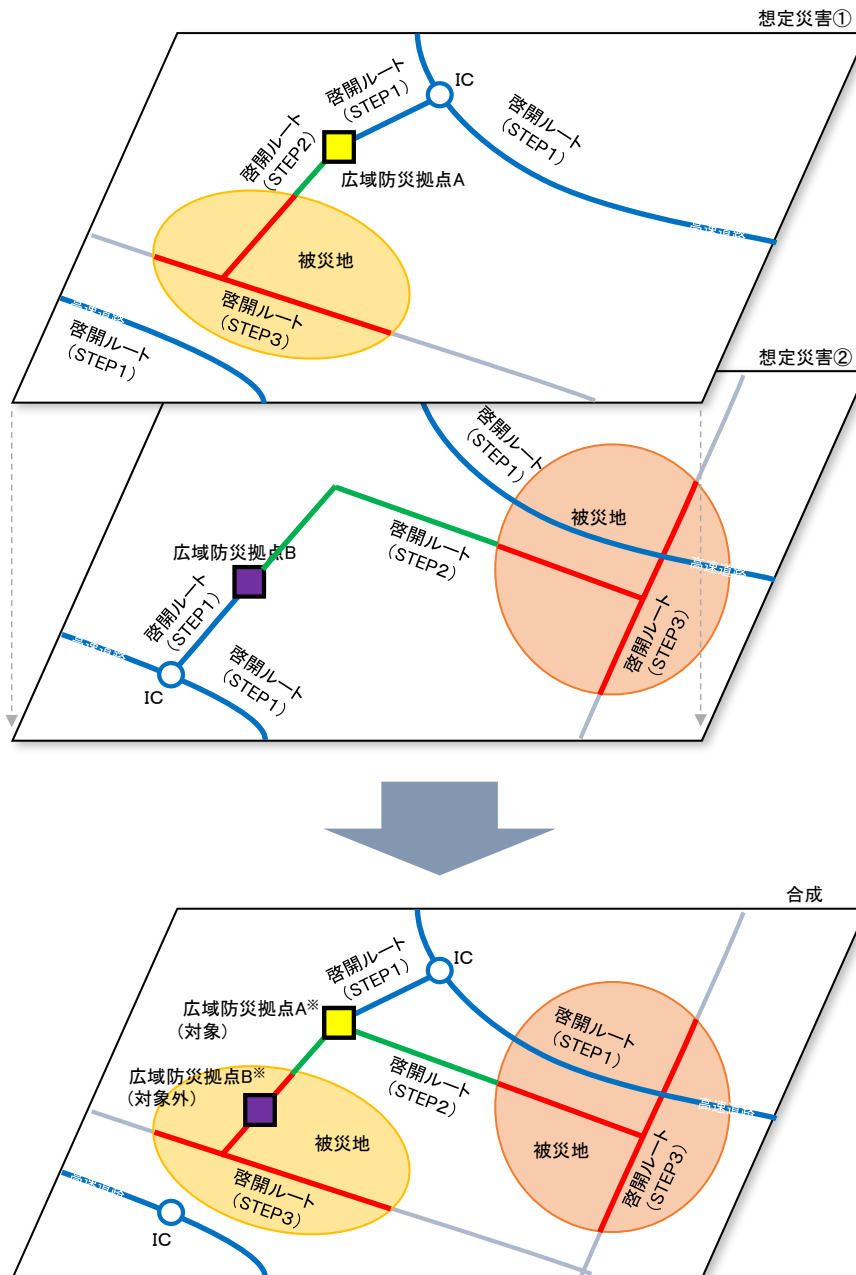


図 4.2 合成ケースのイメージ

表 4.2 広域防災拠点の選定結果

SEQ	広域防災拠点		対象被災パターン				
	分類	拠点名	東京湾北部地震	大正関東地震	成田空港直下地震	津波	合成
1	救援	県立柏の葉公園	○	○			○
2	救援	大堀川防災レクリエーション公園	○	○			○
3	医療	東京慈恵会医科大学附属柏病院	○				○
4	自衛隊	海上自衛隊下総航空基地	○	○			○
5	医療	松戸市立総合医療センター	○	○			○
6	医療	千葉西総合病院		○			○
7	救援	西部防災センター	○	○			○
8	自衛隊	陸上自衛隊松戸駐屯地	○	○			○
9	救援	鎌ヶ谷市宮陸上競技場	○	○			○
10	救援	道の駅やちよ		○		○	
11	医療	東京女子医科大学八千代医療センター	○	○			○
12	医療	船橋市立医療センター	○	○			○
13	自衛隊	陸上自衛隊習志野駐屯地及び演習場	○	○	○		○
14	医療	千葉県済生会習志野病院	○				○
15	救援	日本コンベンションセンター国際展示場（幕張メッセ）			○		
16	医療	千葉県総合救急災害医療センター			○		
17	医療	千葉市立海浜病院 ※			○		
18	救援	北羽鳥多目的広場	○		○	○	○
19	救援	牧の原公園	○		○	○	○
20	医療	日本医科大学千葉北総病院	○		○	○	○
21	医療	成田赤十字病院	○		○	○	○
22	救援	岩名運動公園		○	○	○	○
23	医療	東邦大学医療センター佐倉病院			○	○	○
24	救援	四街道総合公園	○	○	○	○	○
25	自衛隊	陸上自衛隊下志津駐屯地	○			○	○
26	救援	県総合スポーツセンター		○	○	○	○
27	医療	国立病院機構千葉医療センター	○	○	○	○	○
28	医療	国立大学法人千葉大学医学部附属病院	○	○	○	○	○
29	医療	千葉市立青葉病院		○	○	○	○
30	医療	地方独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	○	○	○	○	○
31	救援	市原市文化の森	○	○	○	○	○
32	医療	帝京大学ちば総合医療センター		○	○	○	
33	自衛隊	航空自衛隊木更津分屯基地			○		
34	自衛隊	海上自衛隊木更津基地			○		
35	自衛隊	陸上自衛隊木更津駐屯地			○		
36	医療	国保直営総合病院君津中央病院	○		○	○	○
37	救援	かずさアカデミアパーク	○	○		○	○
38	医療	千葉県立佐原病院	○		○	○	○
39	救援	県総合スポーツセンター東総運動場					
40	医療	総合病院国保旭中央病院			○	○	○
41	救援	旭文化の杜公園				○	
42	救援	松尾運動公園			○	○	○
43	救援	さんぶの森公園			○		○
44	医療	東千葉メディカルセンター			○	○	○
45	救援	昭和の森			○	○	○
46	救援	県立長生の森公園	○		○	○	○
47	救援	長南町陸上競技場	○		○	○	○
48	医療	千葉循環器病センター	○	○	○		○
49	救援	睦沢町総合運動公園			○	○	○
50	救援	いすみ市文化とスポーツの森	○		○	○	○
51	救援	大多喜町 B&G 海洋センター	○	○	○	○	○
52	救援	道の駅ふれあいパーク・きみつ		○		○	○
53	自衛隊	航空自衛隊峯岡分屯地		○		○	○
54	救援	鴨川市総合運動公園				○	
55	医療	社会福祉法人太陽会安房地域医療センター				○	
56	救援	県立館山運動公園				○	

※ 17：千葉市立海浜病院（美浜区若葉 3-1 に令和 8 年移転（名称公募中））

表 4.3 広域防災拠点毎の啓開ルート設定(1/2)

SEQ	広域防災拠点		啓開ルート				
			STEP1		STEP2	STEP3 地先名	
			高速道路、利用 IC	一般道			
1	救援	県立柏の葉公園	常磐自動車道 柏 IC	国道 16 号を利用し拠点へ	国道 16 号、国道 6 号、県道 57 号、県道 51 号を利用し STEP3 へ	市川市八幡	
	救援	大堀川防災 レクリエーション公園					
	医療	東京慈恵会医科大学附属 柏病院					
2	自衛隊	海上自衛隊 下総航空基地	常磐自動車道 柏 IC	国道 16 号、国道 8 号（一部国道 464 号重複）を利用し拠点へ	国道 16 号、国道 8 号（一部国道 464 号重複）を利用し STEP3 へ	船橋市宮本	
3	救援	鎌ヶ谷市宮陸上競技場			国道 6 号、県道 57 号を利用し拠点へ	県道 8 号を利用し STEP3 へ	市川市八幡
	医療	船橋市立医療センター					
4	自衛隊	陸上自衛隊松戸駐屯地	常磐自動車道 柏 IC	国道 6 号、国道 57 号を利用し拠点へ	県道 57 号、県道 51 号を利用し STEP3 へ	市川市八幡	
5	医療	千葉西総合病院					
	医療	松戸市立総合医療センター					
6	救援	西部防災センター	常磐自動車道 柏 IC	国道 6 号を利用し拠点へ	国道 6 号を利用し STEP3 へ		
7	自衛隊	陸上自衛隊 習志野駐屯地及び演習場		国道 16 号、国道 296 号を利用し拠点へ	国道 296 号、国道 8 号を利用し STEP3 へ	市川市八幡	
							8
9	医療	東京女子医科大学 八千代医療センター	東関東自動車道 千葉北 IC	国道 16 号、国道 296 号を利用し拠点へ	国道 296 号を利用し STEP3 へ	八千代市下市場	
10	救援	県総合スポーツセンター	東関東自動車道 千葉北 IC	国道 16 号を利用し拠点へ	国道 16 号、(市)新港穴川線を利用し STEP3 へ	千葉県美浜区幸町	
11	医療	国立病院機構 千葉医療センター		国道 16 号、国道 126 号を利用し拠点へ	国道 126 号、国道 14 号を利用し STEP3 へ		
							12
13	自衛隊	陸上自衛隊 下志津駐屯地	東関東自動車道 四街道 IC	県道 64 号を利用し拠点へ	県道 64 号、(市)新町若松町線、国道 126 号、国道 14 号を利用し STEP3 へ	千葉県美浜区幸町	
14	救援	四街道総合公園		県道 64 号、県道 66 号を利用し拠点へ	国道 51 号、(市)新町若松町線、国道 126 号、国道 14 号を利用し STEP3 へ		
15	医療	千葉市立青葉病院	京葉道路 松ヶ丘 IC	県道 20 号、(市)西千葉駅稲荷町線を利用し拠点へ	(市)西千葉駅稲荷町線、県道 20 号、(市)中央赤井町線、県道 217 号、国道 14 号を利用し STEP3 へ	千葉県美浜区幸町	
16	救援	牧の原公園	東関東自動車道 千葉北 IC	国道 16 号、県道 4 号、国道 464 号を利用し拠点へ	国道 464 号を利用し STEP3 へ	印西市泉野	
17	救援	北羽鳥多目的広場	—	国道 408 号を利用し拠点へ	国道 408 号を利用し STEP3 へ	成田市竜台	
18	医療	成田赤十字病院	東関東自動車道 富里 IC	国道 409 号、国道 51 号、国道 464 号を利用し拠点へ	国道 464 号、国道 51 号を利用し STEP3 へ	成田市飯田町	
19	医療	日本医科大学 千葉北総病院		国道 409 号、国道 51 号、国道 464 号、県道 65 号を利用し拠点へ	県道 65 号を利用し STEP3 へ	印西市瀬戸	

表 4.4 広域防災拠点毎の啓開ルート設定(2/2)

SEQ	広域防災拠点		啓開ルート			
			STEP1		STEP2	STEP3 地先名
	分類	拠点名	高速道路、利用 IC	一般道		
20	救援	岩名運動公園	東関東自動車道 佐倉 IC	県道 65 号、国道 296 号を利用 し拠点へ	県道 65 号を利用し STEP3 へ	佐倉市岩名
21	医療	千葉県立佐原病院	東関東自動車道 佐原香取 IC	県道 55 号を利用し拠点へ	県道 55 号を利用し STEP3 へ	香取市佐原イ
22	医療	地方独立行政法人 労働者健康安全機構 千葉労災病院	圏央道 茂原長柄 SIC	県道 14 号を利用し拠点へ	県道 14 号、国道 16 号を利用し STEP3 へ	千葉市中央区村田町
23	救援	市原市文化の森	圏央道 茂原長南 IC	国道 409 号、県道 13 号、国道 297 号、県道 292 号を利用し拠 点へ	県道 292 号、国道 297 号を利用し STEP3 へ	市原市八幡海岸通
24	救援	県総合スポーツセンター 東総運動場	東関東自動車道 大栄 IC	国道 51 号、県道 70 号、県道 125 号、県道 70 号、県道 28 号 を利用し拠点へ	県道 28 号、県道 74 号を利用し STEP3 へ	旭市入野
25	医療	総合病院国保旭中央病院	圏央道	国道 126 号を利用し拠点へ	国道 126 号を利用し STEP3 へ	旭市二
26	救援	松尾運動公園	松尾横芝 IC	県道 62 号を利用し拠点へ	県道 62 号を利用し STEP3 へ	山武市松尾町猿尾
27	救援	さんぶの森公園	圏央道 山武成東 IC	県道 76 号、県道 116 号を利用 し拠点へ	県道 116 号、県道 76 号を利用し STEP3 へ	山武市津辺
28	医療	東千葉メディカルセンター	圏央道 東金 IC	(都)丹尾小野線、(都)小野山田 線を利用し拠点へ	(都)小野山田線、(都)丹尾小野 線、国道 126 号を利用し STEP3 へ	東金市台方
29	救援	昭和の森	千葉東金道路 中野 IC	県道 131 号、県道 20 号を利用 し拠点へ	県道 20 号を利用し STEP3 へ	大網白里市仏島
30	救援	県立長生の森公園	圏央道 茂原長柄 SIC	県道 14 号を利用し拠点へ	県道 14 号、国道 128 号、県道 31 号を利用し STEP3 へ	長生郡白子町古所
31	救援	長南町陸上競技場	圏央道 茂原長南 IC	国道 409 号、県道 147 号を利用 し拠点へ	国道 409 号を利用し STEP3 へ	袖ヶ浦市高谷
32	医療	千葉循環器病センター	圏央道 市原舞鶴 IC	国道 297 号、県道 171 号、県 道 284 号を利用し拠点へ	県道 284 号、国道 409 号を利用し STEP3 へ	袖ヶ浦市高谷
33	救援	睦沢町総合運動公園	圏央道 茂原長南 IC	国道 409 号、県道 147 号、県 道 148 号、県道 150 号を利用し 拠点へ	県道 150 号、県道 148 号、県道 85 号、国道 128 号を利用し STEP3 へ	長生郡一宮町東浪見
34	医療	国保直営総合病院 君津中央病院	館山自動車道 木更津南 IC	国道 297 号、国道 465 号、県 道 92 号、国道 127 号を利用し 拠点へ	国道 127 号を利用し STEP3 へ	木更津市桜井
35	救援	かずさアカデミアパーク	館山自動車道 君津 IC	県道 92 号、県道 33 号を利用し 拠点へ	県道 33 号を利用し STEP3 へ	袖ヶ浦市滝の口
36	救援	いすみ市文化とスポーツの森	圏央道	国道 297 号、国道 465 号を利用 し拠点へ	国道 465 号を利用し STEP3 へ	いすみ市若山
37	救援	大多喜町 B&G 海洋センター	市原舞鶴 IC	国道 297 号、県道 172 号を利用 し拠点へ	県道 172 号、国道 297 号を利用し STEP3 へ	勝浦市墨名
38	救援	道の駅ふれあいパーク・きみつ	圏央道 木更津東 IC	国道 410 号、県道 24 号を利用 し拠点へ	県道 24 号を利用し STEP3 へ	鴨川市横渚
39	自衛隊	航空自衛隊峯岡分屯地	富津館山道路 鋸南保田 IC	県道 34 号、国道 410 号を利用 し拠点へ	国道 410 号を利用し STEP3 へ	南房総市大井

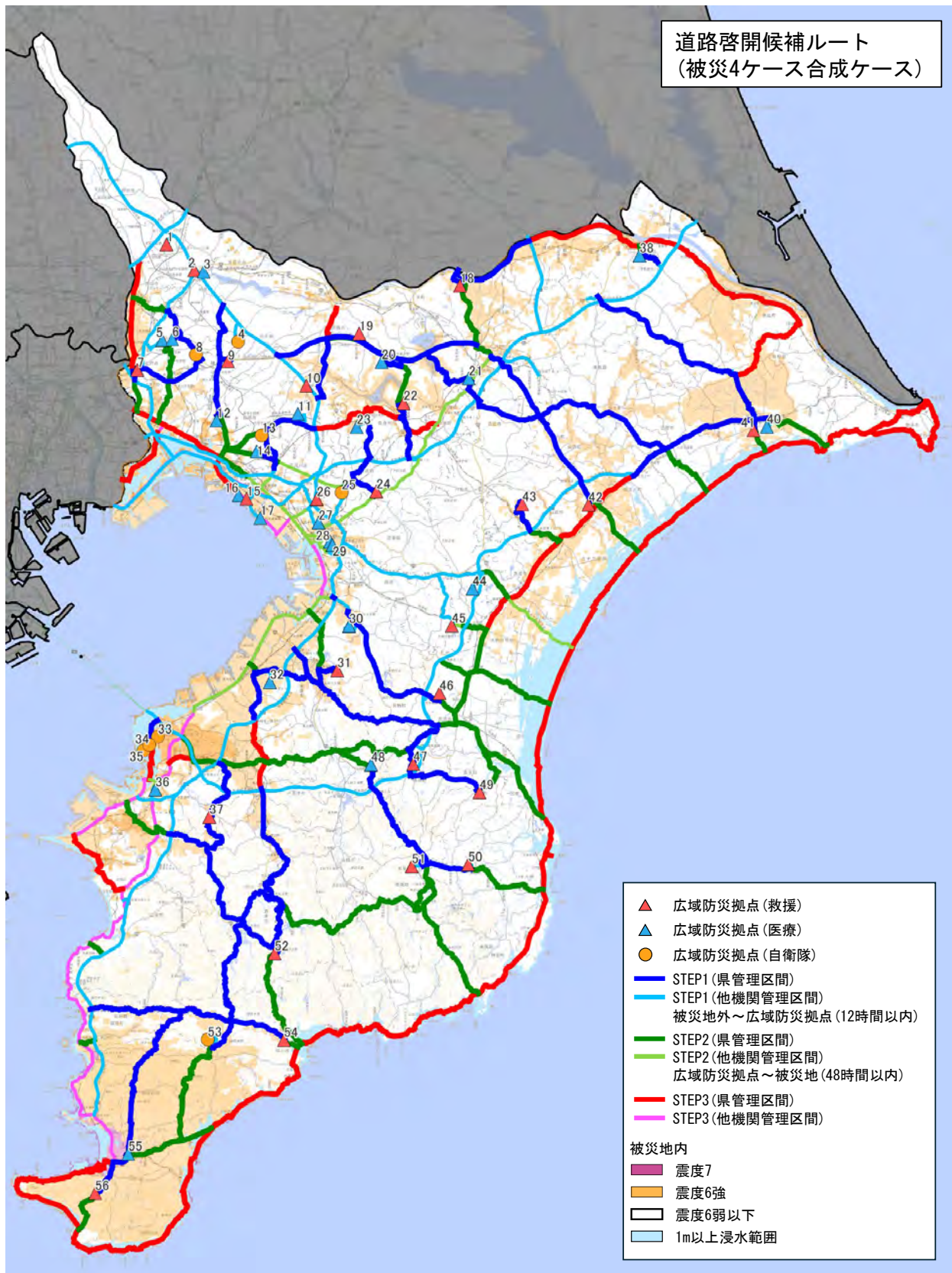


図 4.3 広域防災拠点毎の啓開ルート設定

全体図

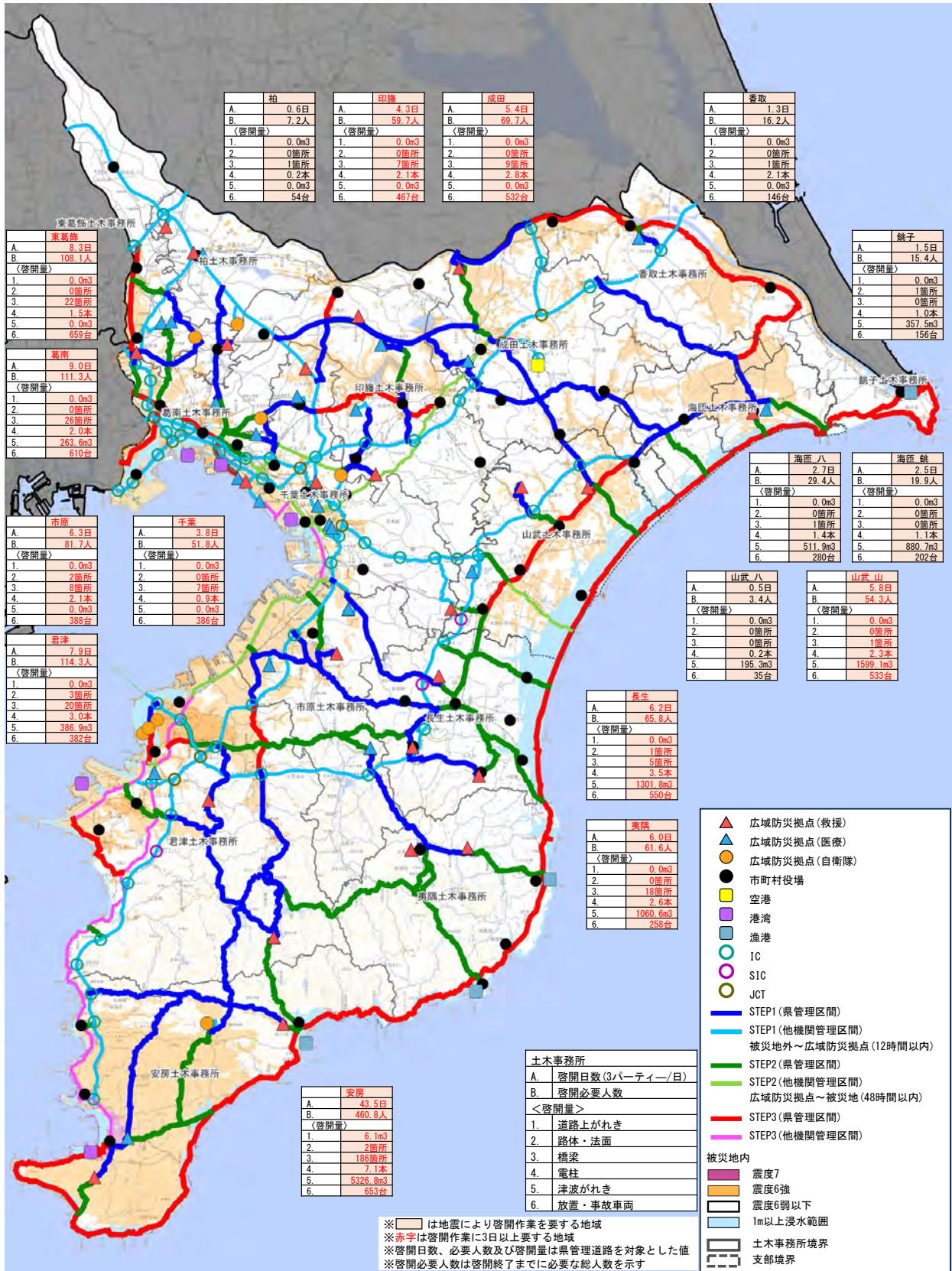


図 4.4 千葉県全体での啓開候補ルート及び啓開量



# 1. 千葉土木事務所

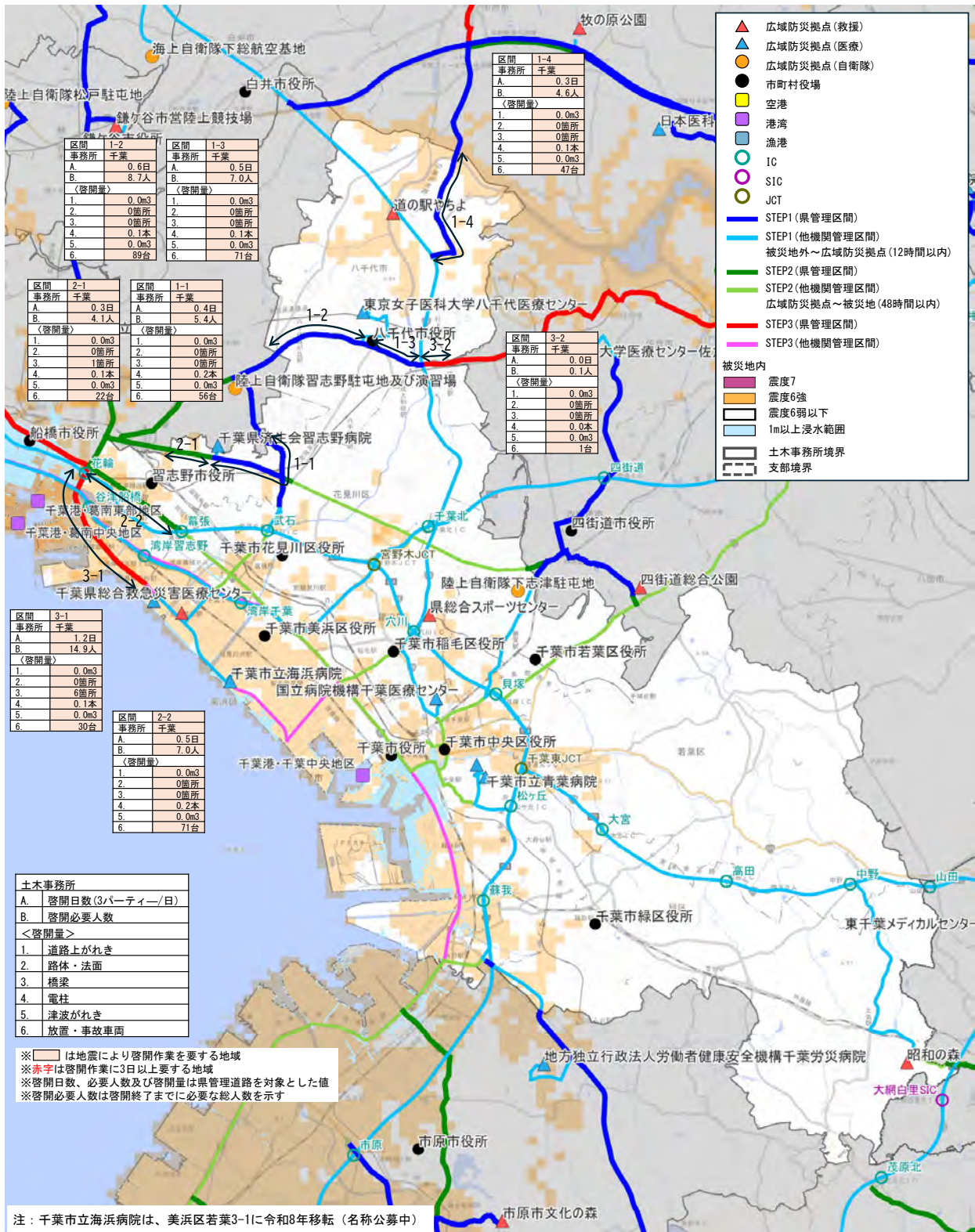


図 4.5 千葉土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量

## 2. 葛南土木事務所

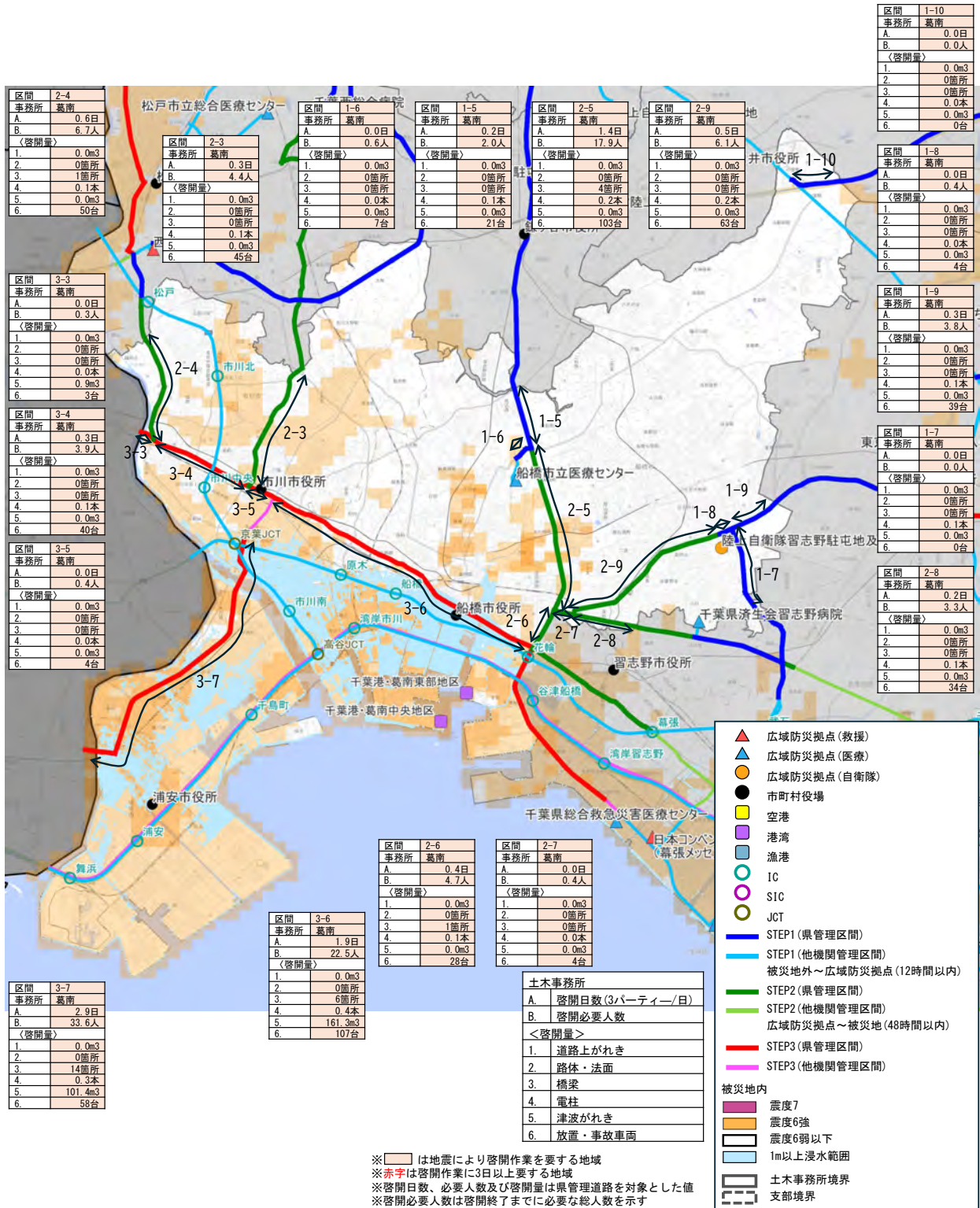


図 4.6 葛南土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量

### 3. 東葛飾土木事務所

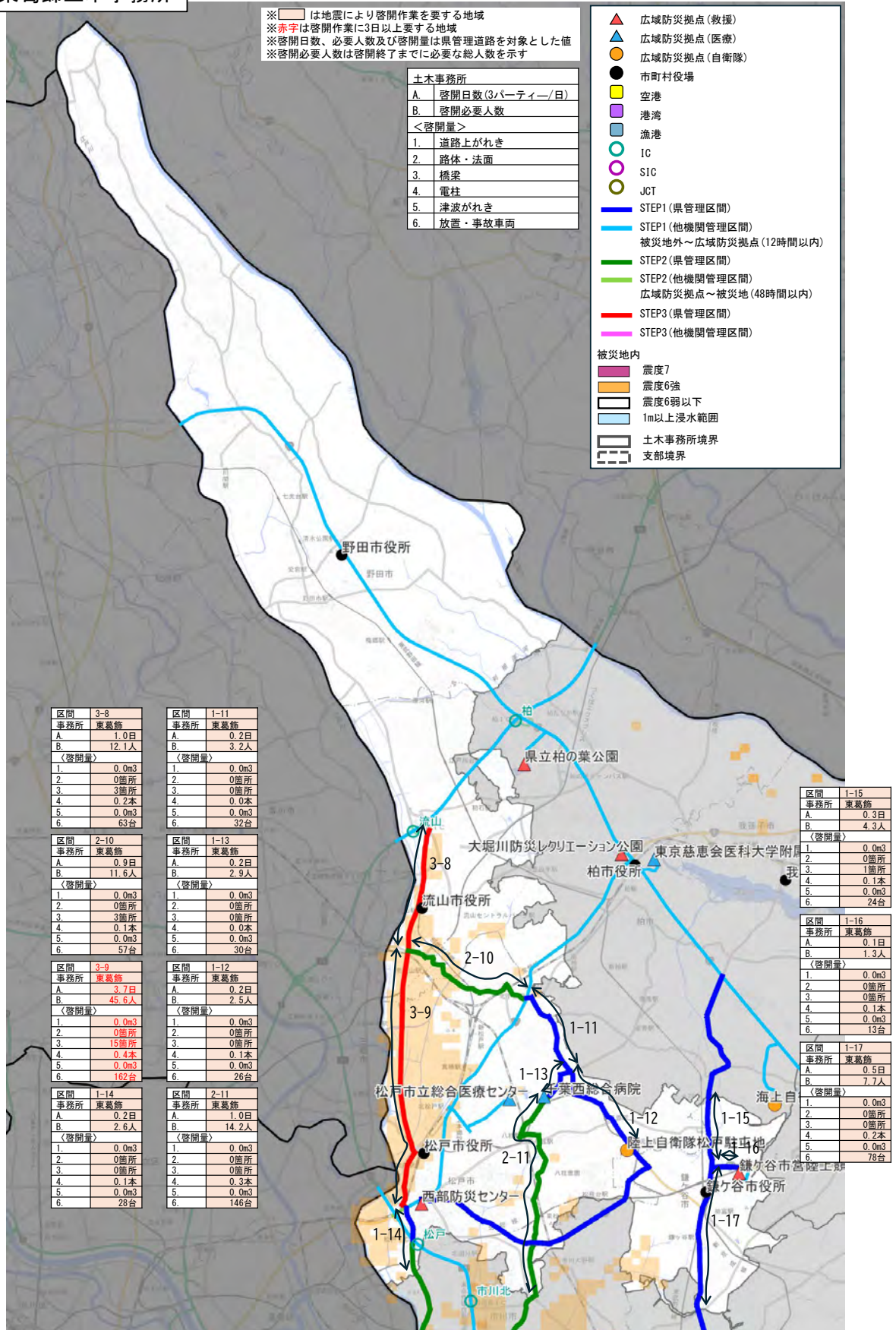


図 4.7 東葛飾土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量

#### 4. 柏土木事務所

※   は地震により啓開作業を要する地域  
 ※ 赤字は啓開作業に3日以上要する地域  
 ※ 啓開日数、必要人数及び啓開量は県管理道路を対象とした値  
 ※ 啓開必要人数は啓開終了までに必要な総人数を示す

土木事務所	
A.	啓開日数(3ヶ月/日)
B.	啓開必要人数
＜啓開量＞	
1.	道路上がれき
2.	路体・法面
3.	橋梁
4.	電柱
5.	津波がれき
6.	放置・事故車両

<span style="color: red;">▲</span>	広域防災拠点(救援)
<span style="color: blue;">▲</span>	広域防災拠点(医療)
<span style="color: orange;">●</span>	広域防災拠点(自衛隊)
<span style="color: black;">●</span>	市町村役場
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	空港
<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	港湾
<span style="background-color: lightblue; border: 1px solid black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	漁港
<span style="color: green;">○</span>	IC
<span style="color: magenta;">○</span>	SIC
<span style="color: yellow;">○</span>	JCT
<span style="color: blue;">—</span>	STEP1(県管理区間)
<span style="color: cyan;">—</span>	STEP1(他機関管理区間)
	被災地外～広域防災拠点(12時間以内)
<span style="color: green;">—</span>	STEP2(県管理区間)
<span style="color: lightgreen;">—</span>	STEP2(他機関管理区間)
	広域防災拠点～被災地(48時間以内)
<span style="color: red;">—</span>	STEP3(県管理区間)
<span style="color: magenta;">—</span>	STEP3(他機関管理区間)

被災地内	
<span style="background-color: purple; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	震度7
<span style="background-color: orange; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	震度6強
<span style="background-color: yellow; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	震度6弱以下
<span style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	1m以上浸水範囲
<span style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	土木事務所境界
<span style="border: 1px dashed black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	支部境界

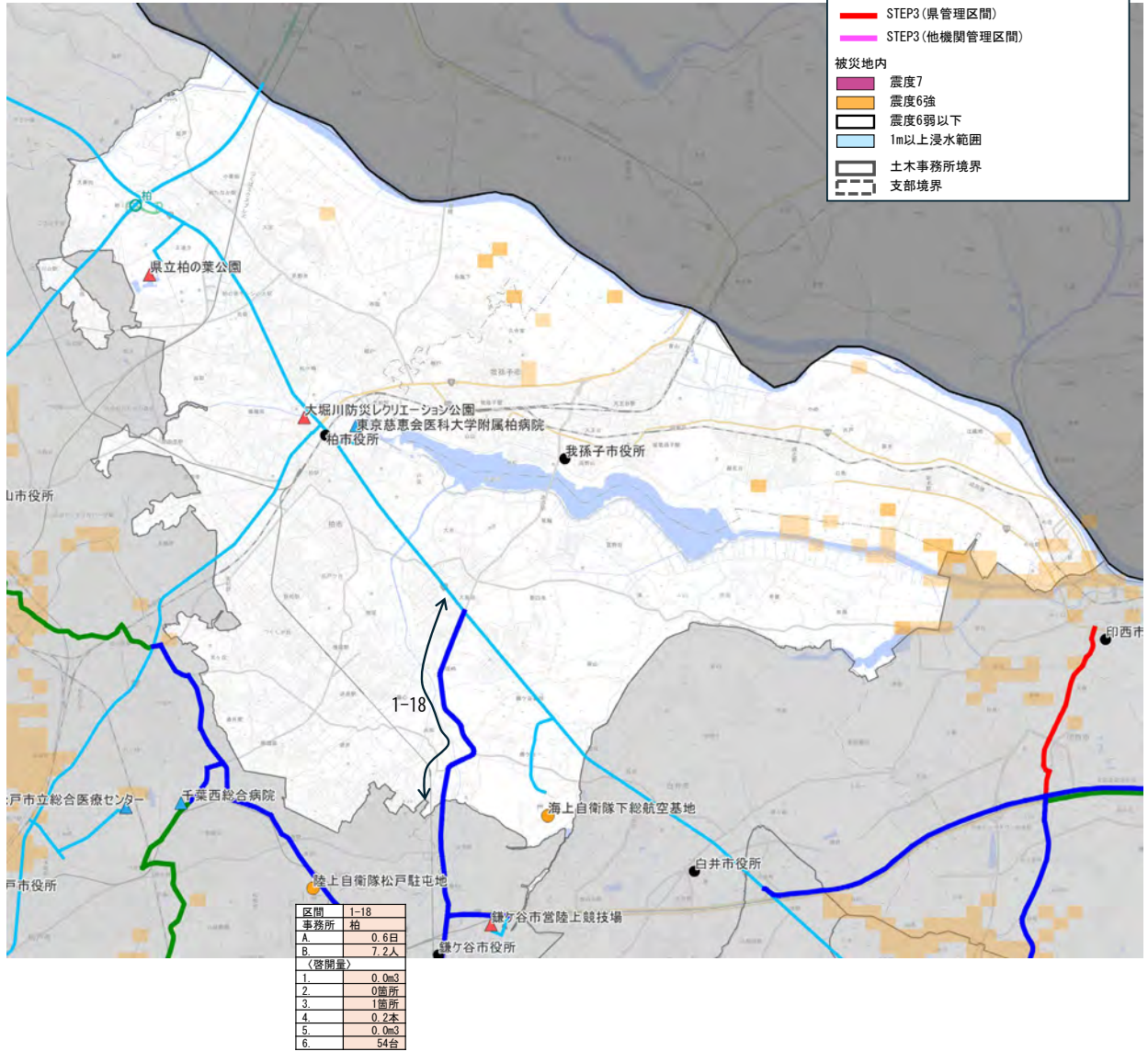


図 4.8 柏土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量



## 6. 成田土木事務所

※   は地震により啓開作業を要する地域  
 ※ 赤字は啓開作業に3日以上要する地域  
 ※ 啓開日数、必要人数及び啓開量は県管理道路を対象とした値  
 ※ 啓開必要人数は啓開終了までに必要な総人数を示す

区間	1-39
事務所	成田
A.	0.1日
B.	0.8人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.1本
5.	0.0m3
6.	8台

区間	1-38
事務所	成田
A.	0.0日
B.	0.1人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.0本
5.	0.0m3
6.	1台

区間	1-40
事務所	成田
A.	0.4日
B.	4.4人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	1箇所
4.	0.5本
5.	0.0m3
6.	25台

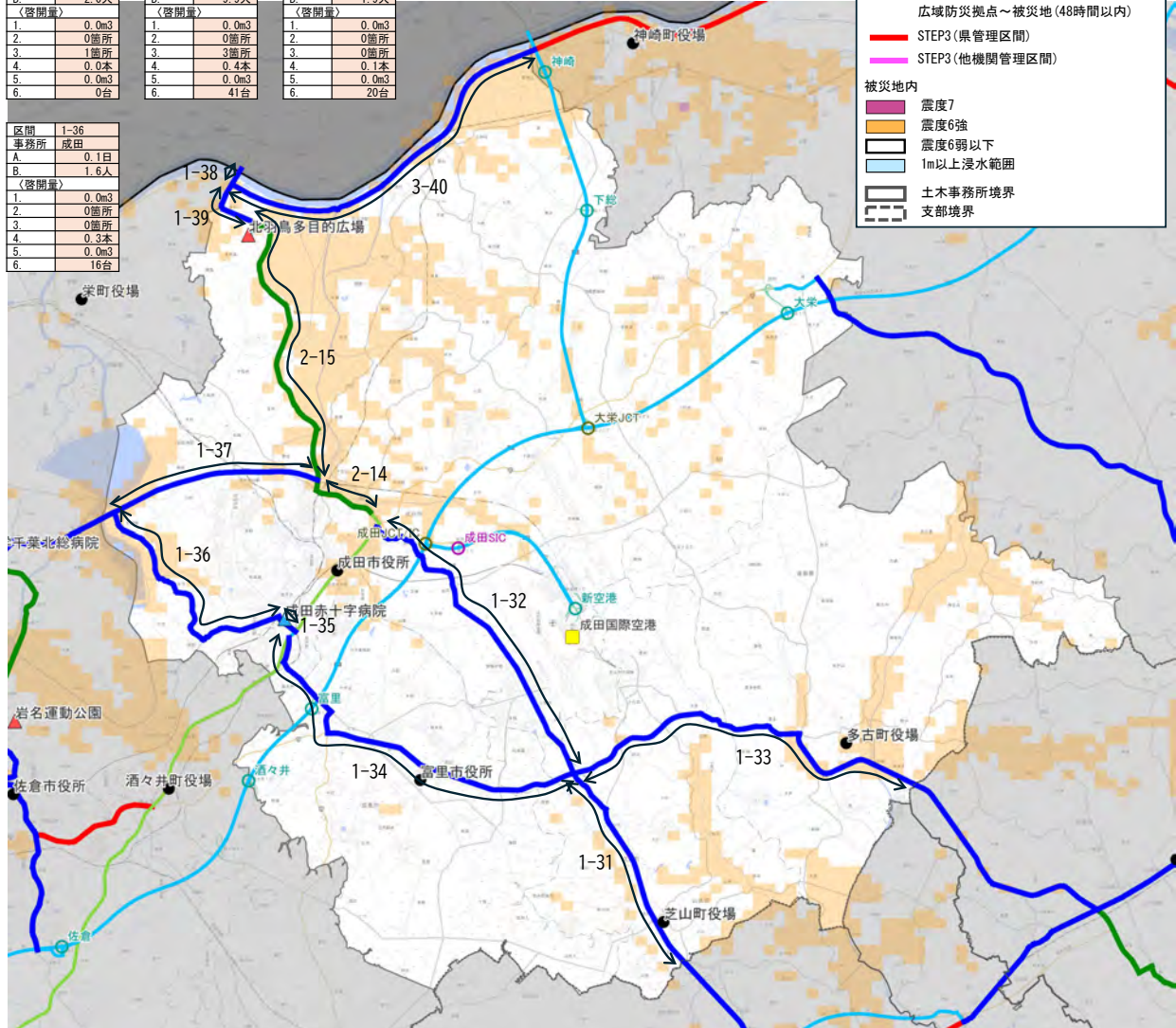
土木事務所	
A.	啓開日数(3パーティー/日)
B.	啓開必要人数
〈啓開量〉	
1.	道路上がれき
2.	路体・法面
3.	橋梁
4.	電柱
5.	津波がれき
6.	放置・事故車両

区間	1-37
事務所	成田
A.	0.2日
B.	2.0人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	1箇所
4.	0.0本
5.	0.0m3
6.	0台

区間	2-15
事務所	成田
A.	0.8日
B.	9.9人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	3箇所
4.	0.4本
5.	0.0m3
6.	41台

区間	2-14
事務所	成田
A.	0.1日
B.	1.9人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.1本
5.	0.0m3
6.	20台

区間	1-36
事務所	成田
A.	0.1日
B.	1.6人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.3本
5.	0.0m3
6.	16台



区間	1-35
事務所	成田
A.	0.0日
B.	0.1人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.0本
5.	0.0m3
6.	1台

区間	1-34
事務所	成田
A.	1.5日
B.	20.4人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	1箇所
4.	0.5本
5.	0.0m3
6.	190台

区間	1-32
事務所	成田
A.	0.5日
B.	6.8人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.2本
5.	0.0m3
6.	70台

区間	1-31
事務所	成田
A.	0.3日
B.	4.2人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.2本
5.	0.0m3
6.	43台

区間	1-33
事務所	成田
A.	1.4日
B.	17.4人
〈啓開量〉	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	3箇所
4.	0.5本
5.	0.0m3
6.	118台

図 4.10 成田土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量

## 7. 香取土木事務所

※ は地震により啓開作業を要する地域  
 ※赤字は啓開作業に3日以上要する地域  
 ※啓開日数、必要人数及び啓開量は県管理道路を対象とした値  
 ※啓開必要人数は啓開終了までに必要な総人数を示す

土木事務所	
A.	啓開日数(3パーティー/日)
B.	啓開必要人数
<啓開量>	
1.	道路上がれき
2.	路体・法面
3.	橋梁
4.	電柱
5.	津波がれき
6.	放置・事故車両

<span style="color: red;">▲</span>	広域防災拠点(救援)
<span style="color: blue;">▲</span>	広域防災拠点(医療)
<span style="color: orange;">▲</span>	広域防災拠点(自衛隊)
●	市町村役場
■	空港
■	港湾
■	漁港
○	IC
○	SIC
○	JCT
—	STEP1(県管理区間)
—	STEP1(他機関管理区間)
—	被災地外～広域防災拠点(12時間以内)
—	STEP2(県管理区間)
—	STEP2(他機関管理区間)
—	広域防災拠点～被災地(48時間以内)
—	STEP3(県管理区間)
—	STEP3(他機関管理区間)
被災地内	
■	震度7
■	震度6強
■	震度6弱以下
■	1m以上浸水範囲
—	土木事務所境界
—	支部境界

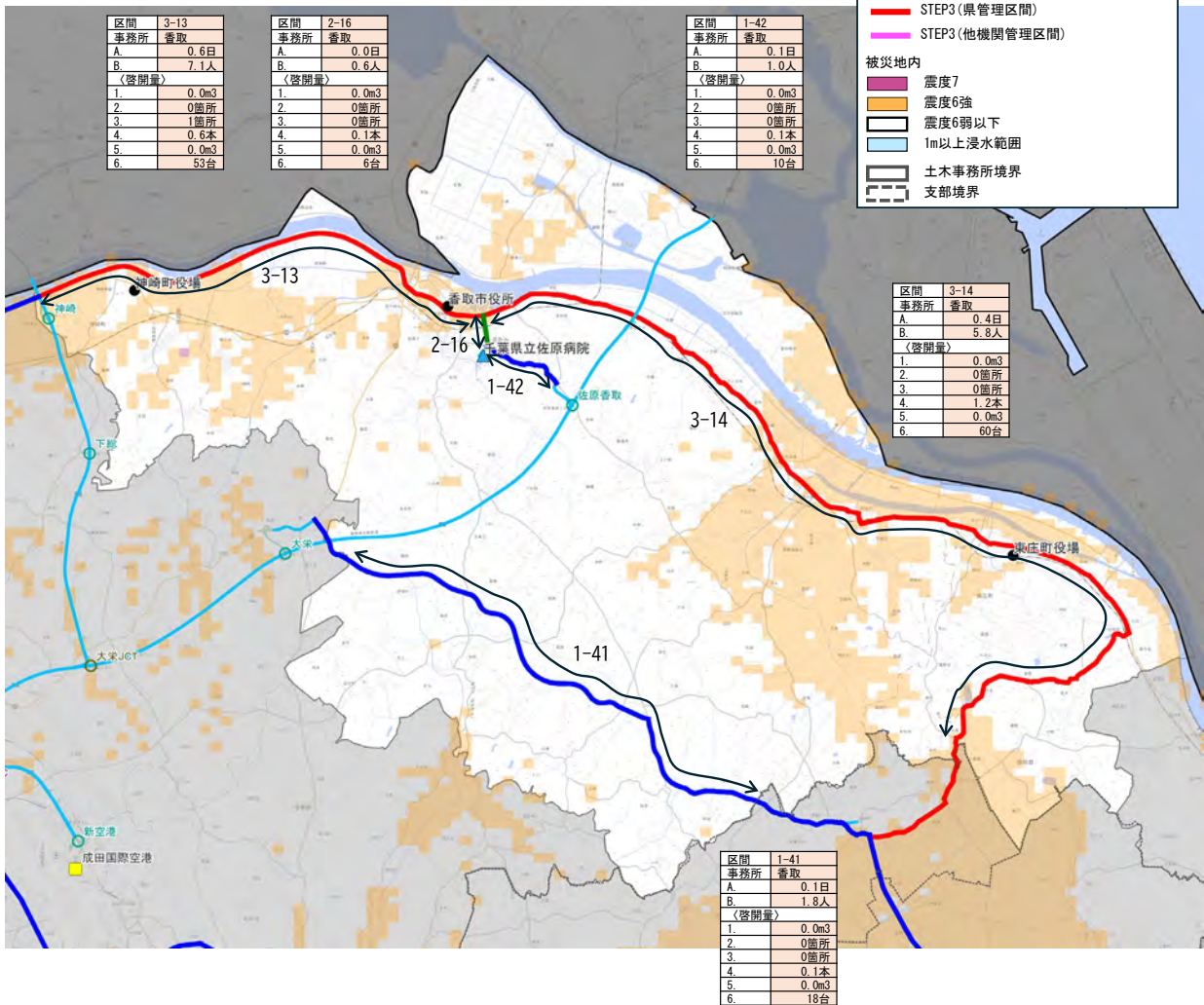


図 4.11 香取土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量

## 8. 銚子土木事務所

※   は地震により啓開作業を要する地域  
 ※赤字は啓開作業に3日以上要する地域  
 ※啓開日数、必要人数及び啓開量は県管理道路を対象とした値  
 ※啓開必要人数は啓開終了までに必要な総人数を示す

土木事務所	
A.	啓開日数(3パーティー/日)
B.	啓開必要人数
<啓開量>	
1.	道路上がれき
2.	路体・法面
3.	橋梁
4.	電柱
5.	津波がれき
6.	放置・事故車両

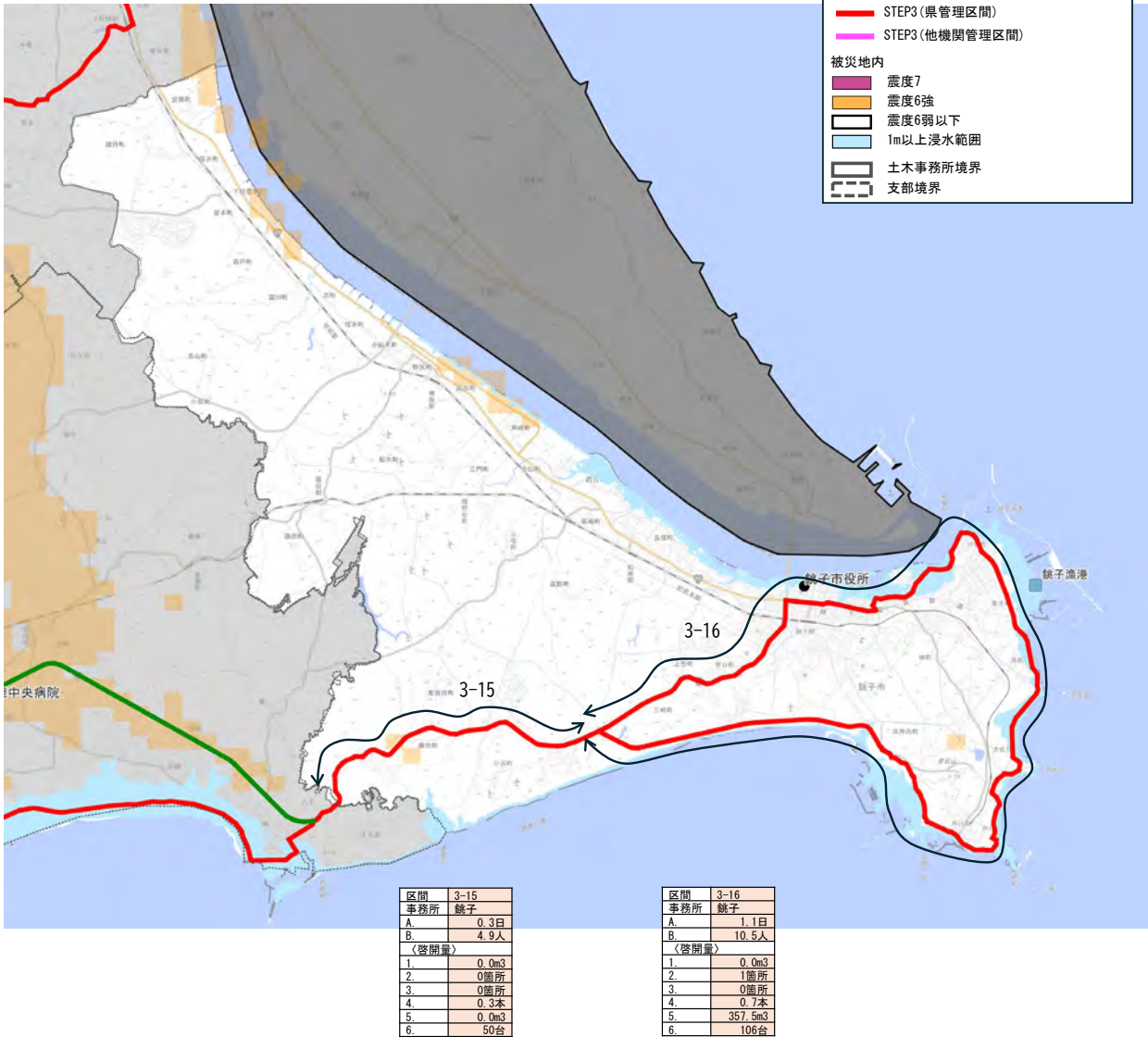


図 4.12 銚子土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量



## 9. 海匠土木事務所(銚子支部)

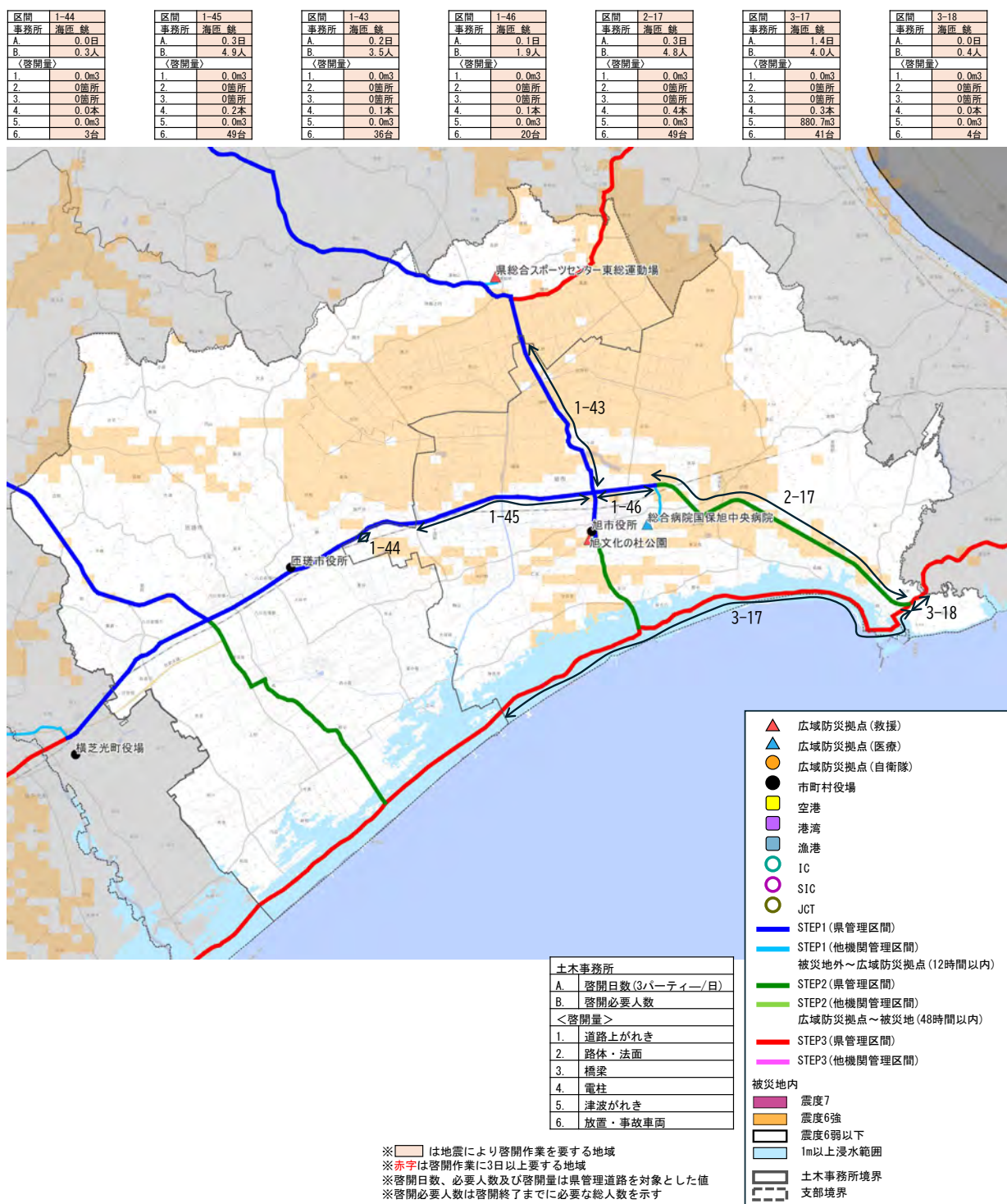


図 4.13 海匠土木事務所銚子支部での啓開候補ルート及び啓開量

## 9. 海匠土木事務所(八日市場支部)

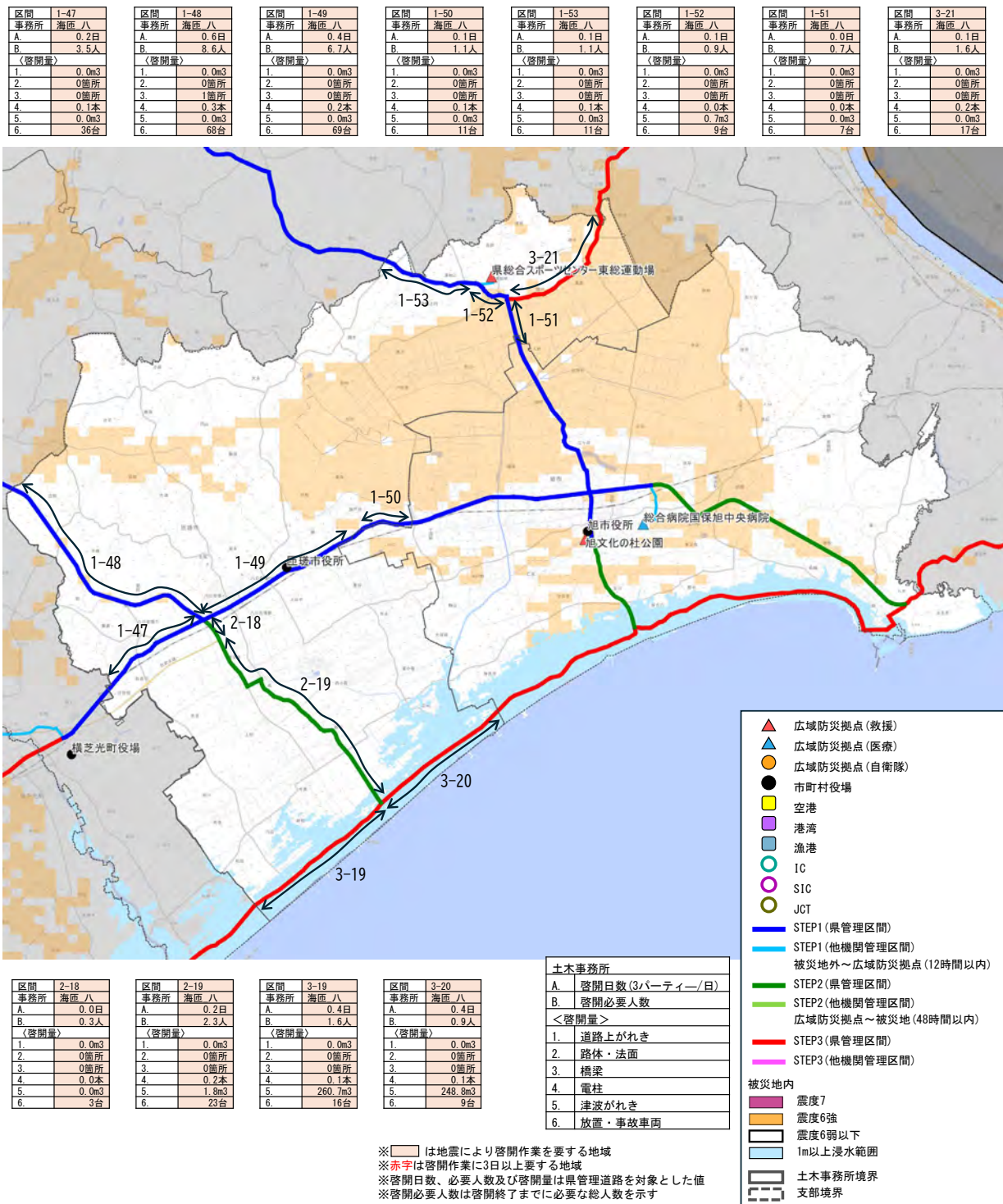


図 4.14 海匠土木事務所八日市場支部での啓開候補ルート及び啓開量

# 10. 山武土木事務所(八日市場支部)

区間	3-22	区間	1-54	区間	3-23
事務所	山武 八	事務所	山武 八	事務所	山武 八
A.	0.0日	A.	0.1日	A.	0.3日
B.	0.6人	B.	1.6人	B.	1.2人
〈啓開量〉		〈啓開量〉		〈啓開量〉	
1.	0.0m3	1.	0.0m3	1.	0.0m3
2.	0箇所	2.	0箇所	2.	0箇所
3.	0箇所	3.	0箇所	3.	0箇所
4.	0.0本	4.	0.1本	4.	0.1本
5.	0.0m3	5.	0.0m3	5.	195.3m3
6.	6台	6.	16台	6.	12台

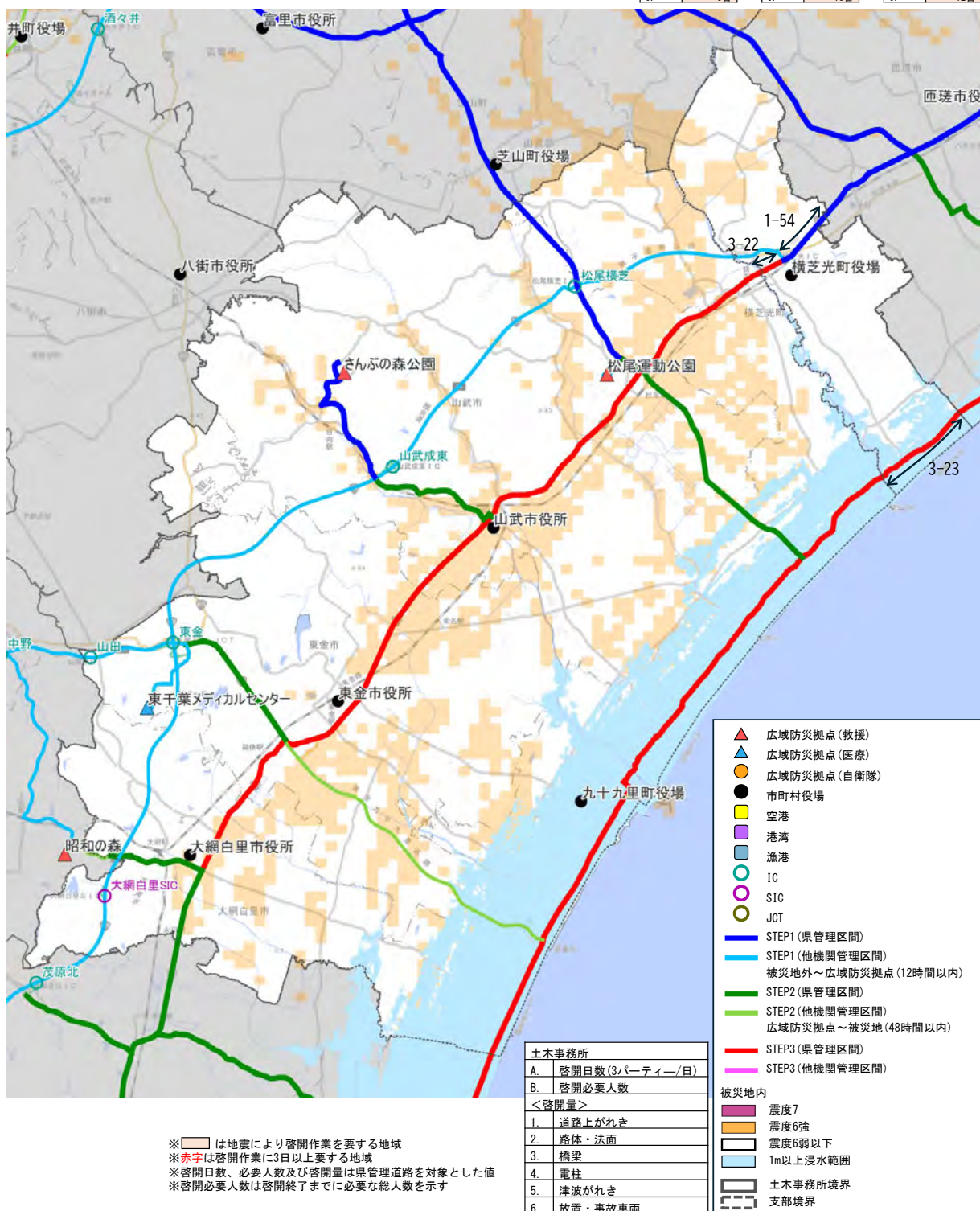


図 4.15 山武土木事務所八日市場支部での啓開候補ルート及び啓開量

# 10. 山武土木事務所(山武支部)

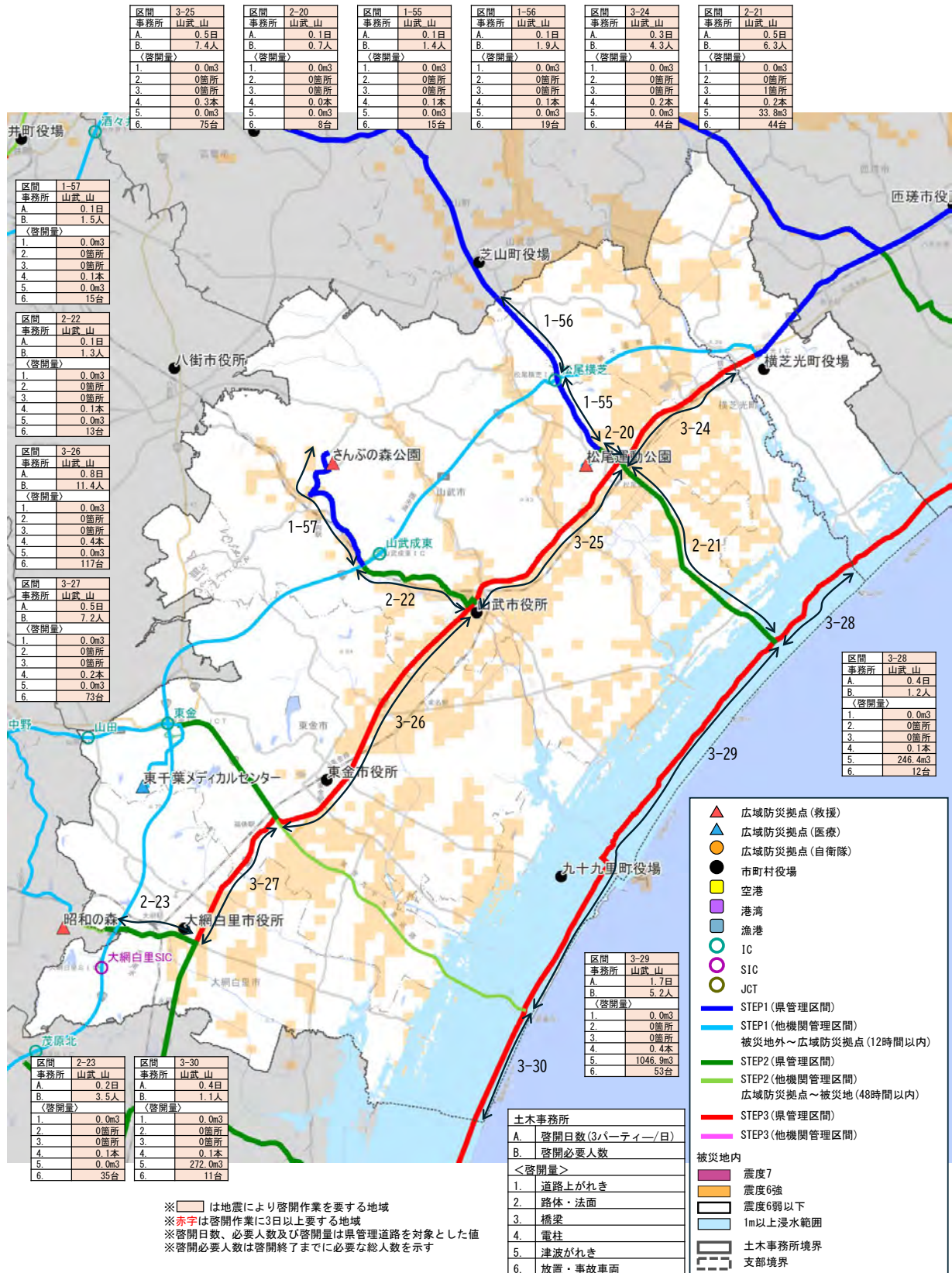


図 4.16 山武土木事務所山武支部での啓開候補ルート及び啓開量

# 11. 長生土木事務所

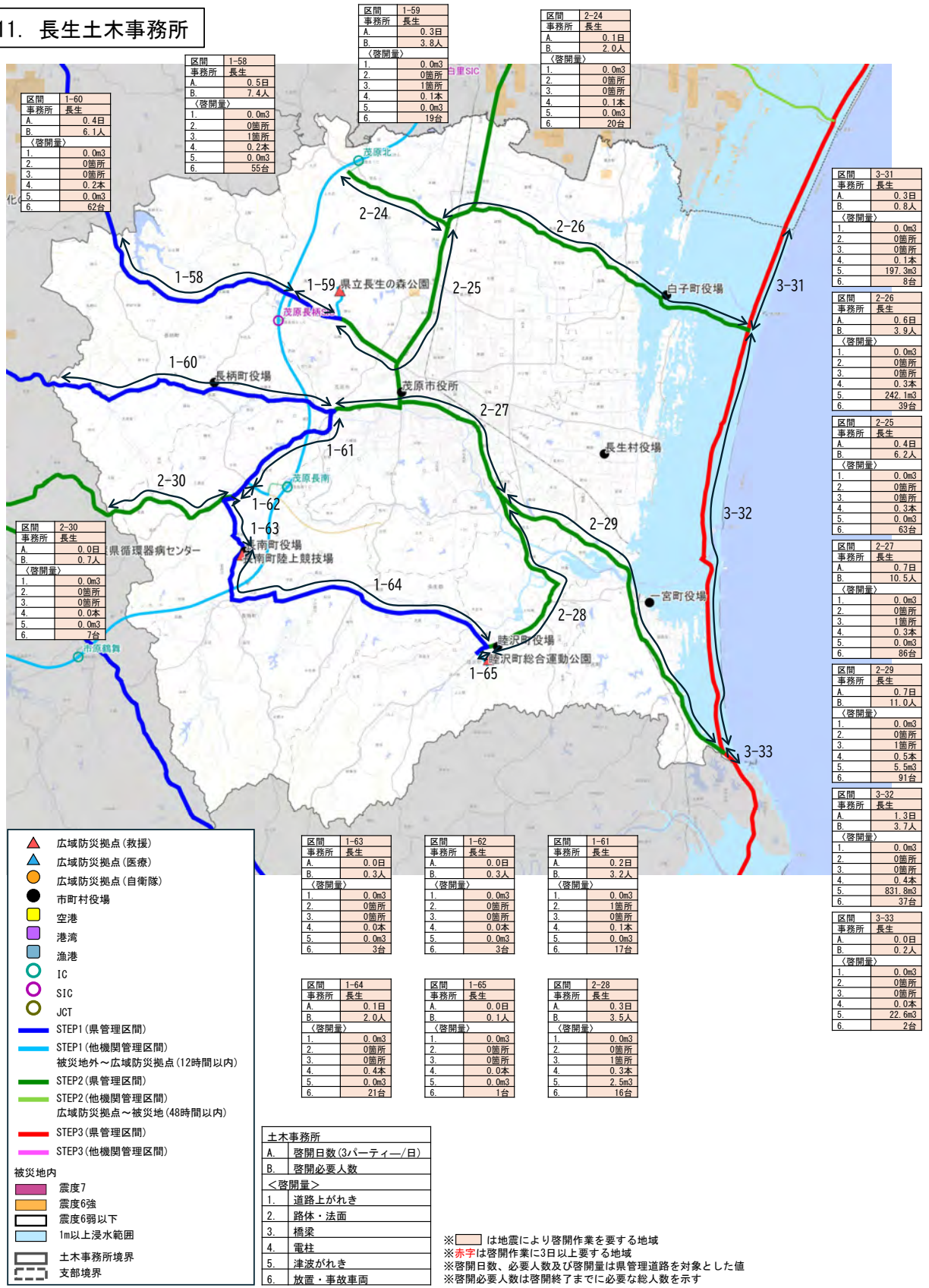
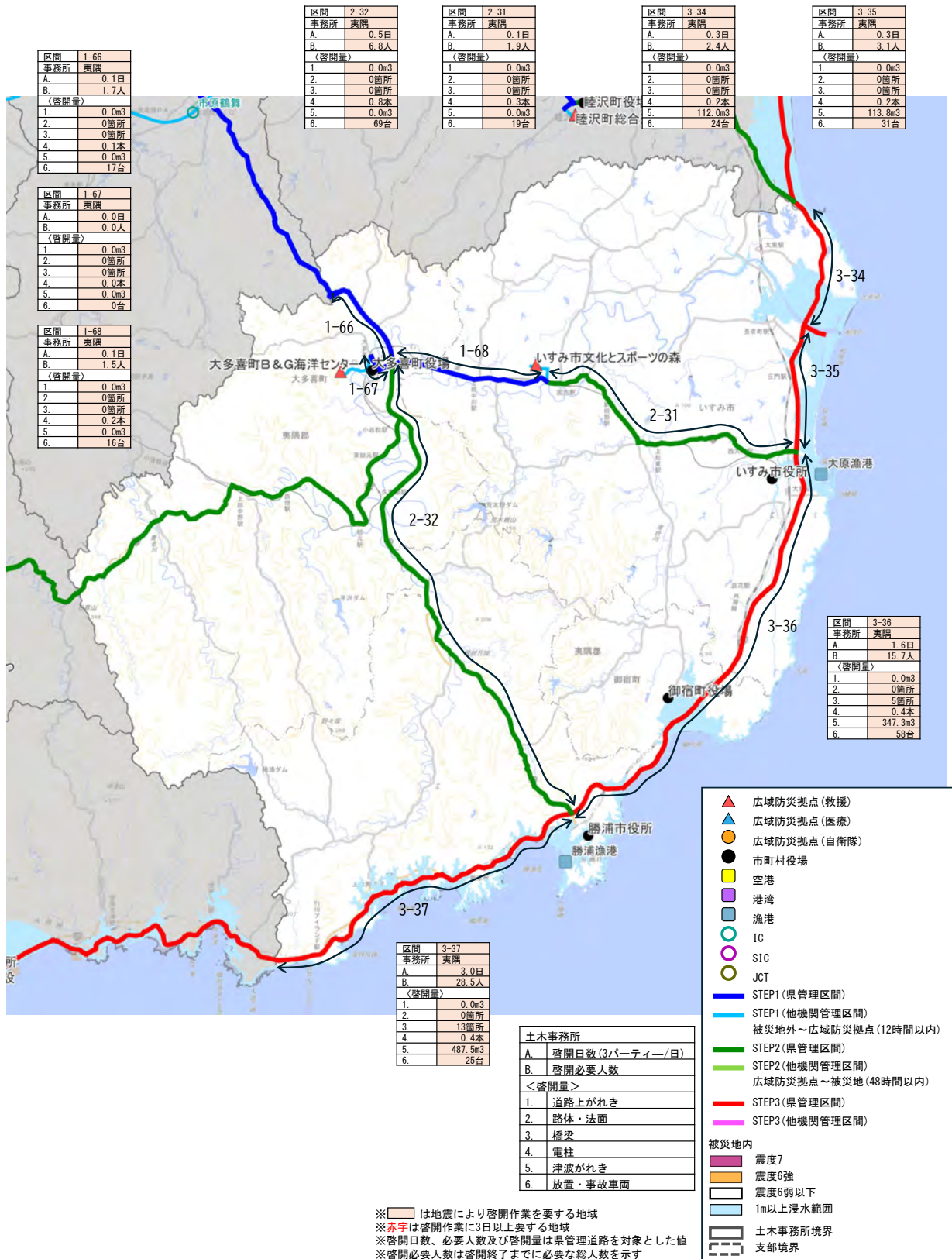


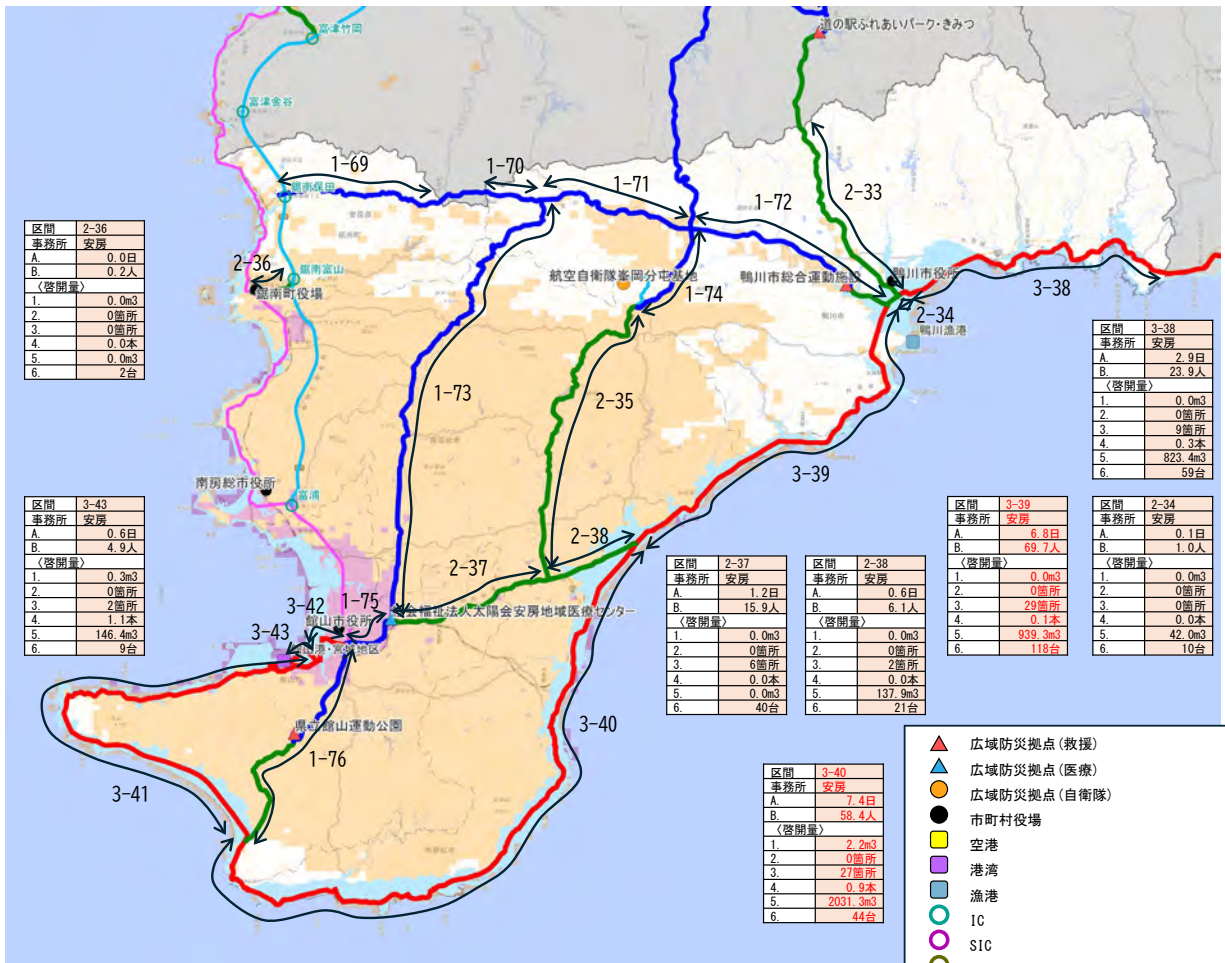
図 4.17 長生土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量

## 12. 夷隅土木事務所



# 13. 安房土木事務所

<table border="1"> <tr><td>区間</td><td>1-69</td></tr> <tr><td>事務所</td><td>安房</td></tr> <tr><td>A</td><td>0.4日</td></tr> <tr><td>B</td><td>4.5人</td></tr> <tr><td>&lt;啓開量&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>1.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>2.</td><td>0箇所</td></tr> <tr><td>3.</td><td>2箇所</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0.1本</td></tr> <tr><td>5.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>6.</td><td>5台</td></tr> </table>	区間	1-69	事務所	安房	A	0.4日	B	4.5人	<啓開量>		1.	0.0m3	2.	0箇所	3.	2箇所	4.	0.1本	5.	0.0m3	6.	5台	<table border="1"> <tr><td>区間</td><td>1-70</td></tr> <tr><td>事務所</td><td>安房</td></tr> <tr><td>A</td><td>0.0日</td></tr> <tr><td>B</td><td>0.2人</td></tr> <tr><td>&lt;啓開量&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>1.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>2.</td><td>0箇所</td></tr> <tr><td>3.</td><td>0箇所</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0.0本</td></tr> <tr><td>5.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>6.</td><td>2台</td></tr> </table>	区間	1-70	事務所	安房	A	0.0日	B	0.2人	<啓開量>		1.	0.0m3	2.	0箇所	3.	0箇所	4.	0.0本	5.	0.0m3	6.	2台	<table border="1"> <tr><td>区間</td><td>1-73</td></tr> <tr><td>事務所</td><td>安房</td></tr> <tr><td>A</td><td>3.7日</td></tr> <tr><td>B</td><td>44.9人</td></tr> <tr><td>&lt;啓開量&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>1.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>2.</td><td>1箇所</td></tr> <tr><td>3.</td><td>16箇所</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0.0本</td></tr> <tr><td>5.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>6.</td><td>37台</td></tr> </table>	区間	1-73	事務所	安房	A	3.7日	B	44.9人	<啓開量>		1.	0.0m3	2.	1箇所	3.	16箇所	4.	0.0本	5.	0.0m3	6.	37台	<table border="1"> <tr><td>区間</td><td>1-71</td></tr> <tr><td>事務所</td><td>安房</td></tr> <tr><td>A</td><td>2.6日</td></tr> <tr><td>B</td><td>39.8人</td></tr> <tr><td>&lt;啓開量&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>1.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>2.</td><td>1箇所</td></tr> <tr><td>3.</td><td>11箇所</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0.1本</td></tr> <tr><td>5.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>6.</td><td>28台</td></tr> </table>	区間	1-71	事務所	安房	A	2.6日	B	39.8人	<啓開量>		1.	0.0m3	2.	1箇所	3.	11箇所	4.	0.1本	5.	0.0m3	6.	28台	<table border="1"> <tr><td>区間</td><td>1-74</td></tr> <tr><td>事務所</td><td>安房</td></tr> <tr><td>A</td><td>0.2日</td></tr> <tr><td>B</td><td>2.9人</td></tr> <tr><td>&lt;啓開量&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>1.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>2.</td><td>0箇所</td></tr> <tr><td>3.</td><td>1箇所</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0.0本</td></tr> <tr><td>5.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>6.</td><td>10台</td></tr> </table>	区間	1-74	事務所	安房	A	0.2日	B	2.9人	<啓開量>		1.	0.0m3	2.	0箇所	3.	1箇所	4.	0.0本	5.	0.0m3	6.	10台	<table border="1"> <tr><td>区間</td><td>2-36</td></tr> <tr><td>事務所</td><td>安房</td></tr> <tr><td>A</td><td>3.5日</td></tr> <tr><td>B</td><td>41.9人</td></tr> <tr><td>&lt;啓開量&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>1.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>2.</td><td>0箇所</td></tr> <tr><td>3.</td><td>20箇所</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0.0本</td></tr> <tr><td>5.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>6.</td><td>19台</td></tr> </table>	区間	2-36	事務所	安房	A	3.5日	B	41.9人	<啓開量>		1.	0.0m3	2.	0箇所	3.	20箇所	4.	0.0本	5.	0.0m3	6.	19台	<table border="1"> <tr><td>区間</td><td>1-72</td></tr> <tr><td>事務所</td><td>安房</td></tr> <tr><td>A</td><td>1.0日</td></tr> <tr><td>B</td><td>10.9人</td></tr> <tr><td>&lt;啓開量&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>1.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>2.</td><td>0箇所</td></tr> <tr><td>3.</td><td>3箇所</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0.2本</td></tr> <tr><td>5.</td><td>108.0m3</td></tr> <tr><td>6.</td><td>49台</td></tr> </table>	区間	1-72	事務所	安房	A	1.0日	B	10.9人	<啓開量>		1.	0.0m3	2.	0箇所	3.	3箇所	4.	0.2本	5.	108.0m3	6.	49台	<table border="1"> <tr><td>区間</td><td>2-33</td></tr> <tr><td>事務所</td><td>安房</td></tr> <tr><td>A</td><td>0.2日</td></tr> <tr><td>B</td><td>1.5人</td></tr> <tr><td>&lt;啓開量&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>1.</td><td>0.0m3</td></tr> <tr><td>2.</td><td>0箇所</td></tr> <tr><td>3.</td><td>0箇所</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0.1本</td></tr> <tr><td>5.</td><td>53.5m3</td></tr> <tr><td>6.</td><td>15台</td></tr> </table>	区間	2-33	事務所	安房	A	0.2日	B	1.5人	<啓開量>		1.	0.0m3	2.	0箇所	3.	0箇所	4.	0.1本	5.	53.5m3	6.	15台
区間	1-69																																																																																																																																																																																						
事務所	安房																																																																																																																																																																																						
A	0.4日																																																																																																																																																																																						
B	4.5人																																																																																																																																																																																						
<啓開量>																																																																																																																																																																																							
1.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
2.	0箇所																																																																																																																																																																																						
3.	2箇所																																																																																																																																																																																						
4.	0.1本																																																																																																																																																																																						
5.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
6.	5台																																																																																																																																																																																						
区間	1-70																																																																																																																																																																																						
事務所	安房																																																																																																																																																																																						
A	0.0日																																																																																																																																																																																						
B	0.2人																																																																																																																																																																																						
<啓開量>																																																																																																																																																																																							
1.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
2.	0箇所																																																																																																																																																																																						
3.	0箇所																																																																																																																																																																																						
4.	0.0本																																																																																																																																																																																						
5.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
6.	2台																																																																																																																																																																																						
区間	1-73																																																																																																																																																																																						
事務所	安房																																																																																																																																																																																						
A	3.7日																																																																																																																																																																																						
B	44.9人																																																																																																																																																																																						
<啓開量>																																																																																																																																																																																							
1.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
2.	1箇所																																																																																																																																																																																						
3.	16箇所																																																																																																																																																																																						
4.	0.0本																																																																																																																																																																																						
5.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
6.	37台																																																																																																																																																																																						
区間	1-71																																																																																																																																																																																						
事務所	安房																																																																																																																																																																																						
A	2.6日																																																																																																																																																																																						
B	39.8人																																																																																																																																																																																						
<啓開量>																																																																																																																																																																																							
1.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
2.	1箇所																																																																																																																																																																																						
3.	11箇所																																																																																																																																																																																						
4.	0.1本																																																																																																																																																																																						
5.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
6.	28台																																																																																																																																																																																						
区間	1-74																																																																																																																																																																																						
事務所	安房																																																																																																																																																																																						
A	0.2日																																																																																																																																																																																						
B	2.9人																																																																																																																																																																																						
<啓開量>																																																																																																																																																																																							
1.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
2.	0箇所																																																																																																																																																																																						
3.	1箇所																																																																																																																																																																																						
4.	0.0本																																																																																																																																																																																						
5.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
6.	10台																																																																																																																																																																																						
区間	2-36																																																																																																																																																																																						
事務所	安房																																																																																																																																																																																						
A	3.5日																																																																																																																																																																																						
B	41.9人																																																																																																																																																																																						
<啓開量>																																																																																																																																																																																							
1.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
2.	0箇所																																																																																																																																																																																						
3.	20箇所																																																																																																																																																																																						
4.	0.0本																																																																																																																																																																																						
5.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
6.	19台																																																																																																																																																																																						
区間	1-72																																																																																																																																																																																						
事務所	安房																																																																																																																																																																																						
A	1.0日																																																																																																																																																																																						
B	10.9人																																																																																																																																																																																						
<啓開量>																																																																																																																																																																																							
1.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
2.	0箇所																																																																																																																																																																																						
3.	3箇所																																																																																																																																																																																						
4.	0.2本																																																																																																																																																																																						
5.	108.0m3																																																																																																																																																																																						
6.	49台																																																																																																																																																																																						
区間	2-33																																																																																																																																																																																						
事務所	安房																																																																																																																																																																																						
A	0.2日																																																																																																																																																																																						
B	1.5人																																																																																																																																																																																						
<啓開量>																																																																																																																																																																																							
1.	0.0m3																																																																																																																																																																																						
2.	0箇所																																																																																																																																																																																						
3.	0箇所																																																																																																																																																																																						
4.	0.1本																																																																																																																																																																																						
5.	53.5m3																																																																																																																																																																																						
6.	15台																																																																																																																																																																																						



区間	2-36
事務所	安房
A	0.0日
B	0.2人
<啓開量>	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.0本
5.	0.0m3
6.	2台

区間	3-43
事務所	安房
A	0.6日
B	4.9人
<啓開量>	
1.	0.3m3
2.	0箇所
3.	2箇所
4.	1.1本
5.	146.4m3
6.	9台

区間	2-37
事務所	安房
A	1.2日
B	15.9人
<啓開量>	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	6箇所
4.	0.0本
5.	0.0m3
6.	40台

区間	2-38
事務所	安房
A	0.6日
B	6.1人
<啓開量>	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	2箇所
4.	0.0本
5.	137.9m3
6.	21台

区間	3-38
事務所	安房
A	2.9日
B	23.9人
<啓開量>	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	9箇所
4.	0.3本
5.	823.4m3
6.	59台

区間	2-34
事務所	安房
A	0.1日
B	1.0人
<啓開量>	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	0箇所
4.	0.0本
5.	42.0m3
6.	10台

区間	3-40
事務所	安房
A	7.4日
B	58.4人
<啓開量>	
1.	2.2m3
2.	0箇所
3.	27箇所
4.	0.9本
5.	2031.3m3
6.	44台

区間	3-41
事務所	安房
A	8.4日
B	86.3人
<啓開量>	
1.	1.9m3
2.	0箇所
3.	41箇所
4.	0.4本
5.	969.8m3
6.	44台

区間	1-76
事務所	安房
A	2.3日
B	29.8人
<啓開量>	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	11箇所
4.	1.0本
5.	1.8m3
6.	79台

区間	3-42
事務所	安房
A	1.2日
B	13.1人
<啓開量>	
1.	1.7m3
2.	0箇所
3.	5箇所
4.	1.3本
5.	73.4m3
6.	31台

区間	1-75
事務所	安房
A	0.4日
B	5.0人
<啓開量>	
1.	0.0m3
2.	0箇所
3.	1箇所
4.	1.5本
5.	0.0m3
6.	31台

土木事務所	
A.	啓開日数(3バーティール/日)
B.	啓開必要人数
<啓開量>	
1.	道路上がれき
2.	路体・法面
3.	橋梁
4.	電柱
5.	津波がれき
6.	放置・事故車両

- ▲ 広域防災拠点(救援)
- ▲ 広域防災拠点(医療)
- 広域防災拠点(自衛隊)
- 市町村役場
- 空港
- 港湾
- 漁港
- IC
- SIC
- JCT
- STEP1(県管理区間)
- STEP1(他機関管理区間)
- 被災地外～広域防災拠点(12時間以内)
- STEP2(県管理区間)
- STEP2(他機関管理区間)
- 広域防災拠点～被災地(48時間以内)
- STEP3(県管理区間)
- STEP3(他機関管理区間)

被災地内

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱以下
- 1m以上浸水範囲
- 土木事務所境界
- 支部境界

※□は地震により啓開作業を要する地域  
 ※赤字は啓開作業に3日以上要する地域  
 ※啓開日数、必要人数及び啓開量は県管理道路を対象とした値  
 ※啓開必要人数は啓開終了までに必要な総人数を示す

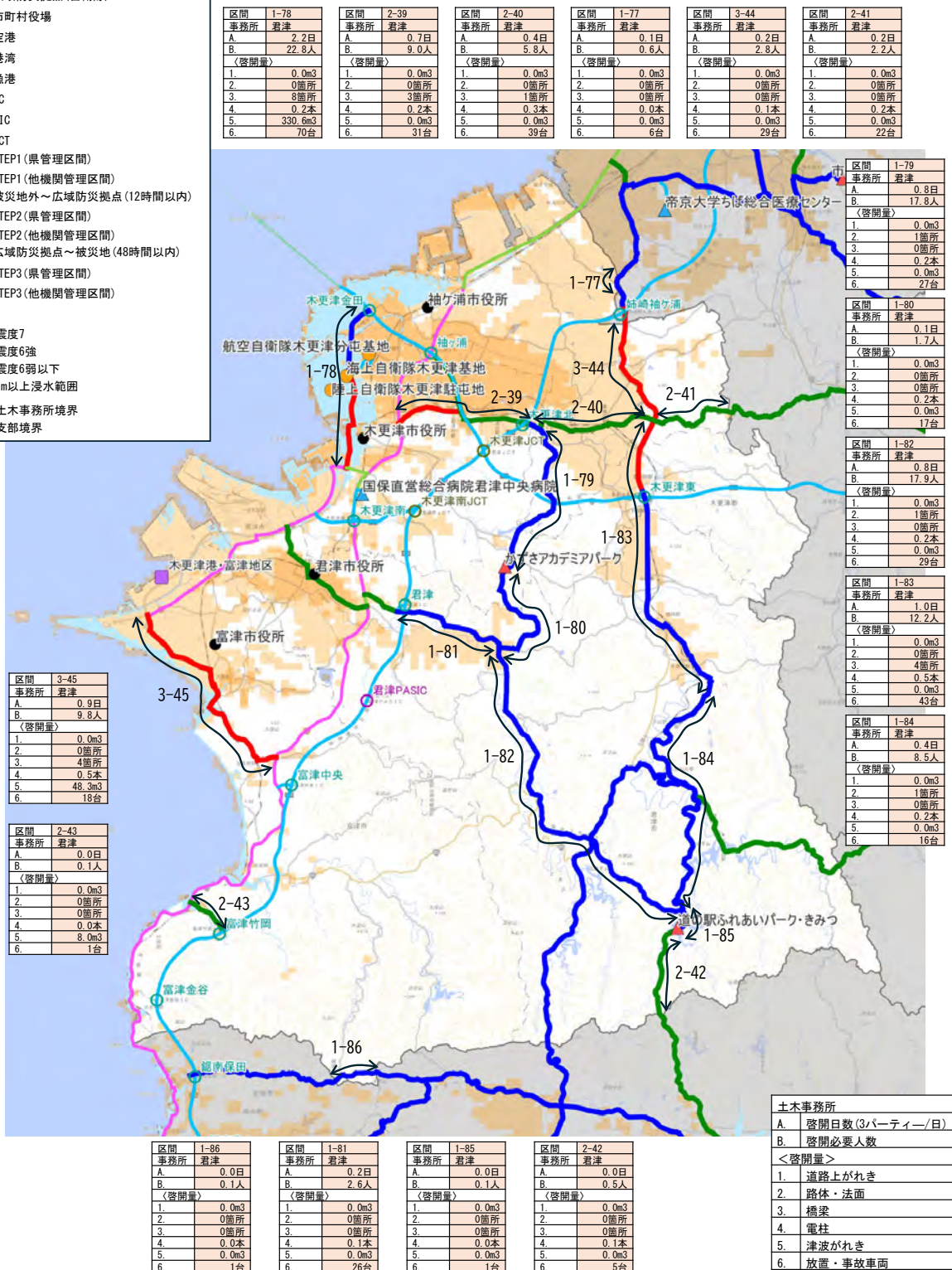
図 4.19 安房土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量

# 14. 君津土木事務所

▲ 広域防災拠点(救援)  
● 広域防災拠点(医療)  
● 広域防災拠点(自衛隊)  
● 市町村役場  
 空港  
 港湾  
 漁港  
 IC  
 SIC  
 JCT  
 STEP1(県管理区間)  
 STEP1(他機関管理区間)  
 被災地外～広域防災拠点(12時間以内)  
 STEP2(県管理区間)  
 STEP2(他機関管理区間)  
 広域防災拠点～被災地(48時間以内)  
 STEP3(県管理区間)  
 STEP3(他機関管理区間)

被災地内

震度7  
 震度6強  
 震度6弱以下  
 1m以上浸水範囲  
 土木事務所境界  
 支部境界



※ は地震により啓開作業を要する地域  
 ※赤字は啓開作業に3日以上要する地域  
 ※啓開日数、必要人数及び啓開量は県管理道路を対象とした値  
 ※啓開必要人数は啓開終了までに必要な総人数を示す

図 4.20 君津土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量



# 15. 市原土木事務所

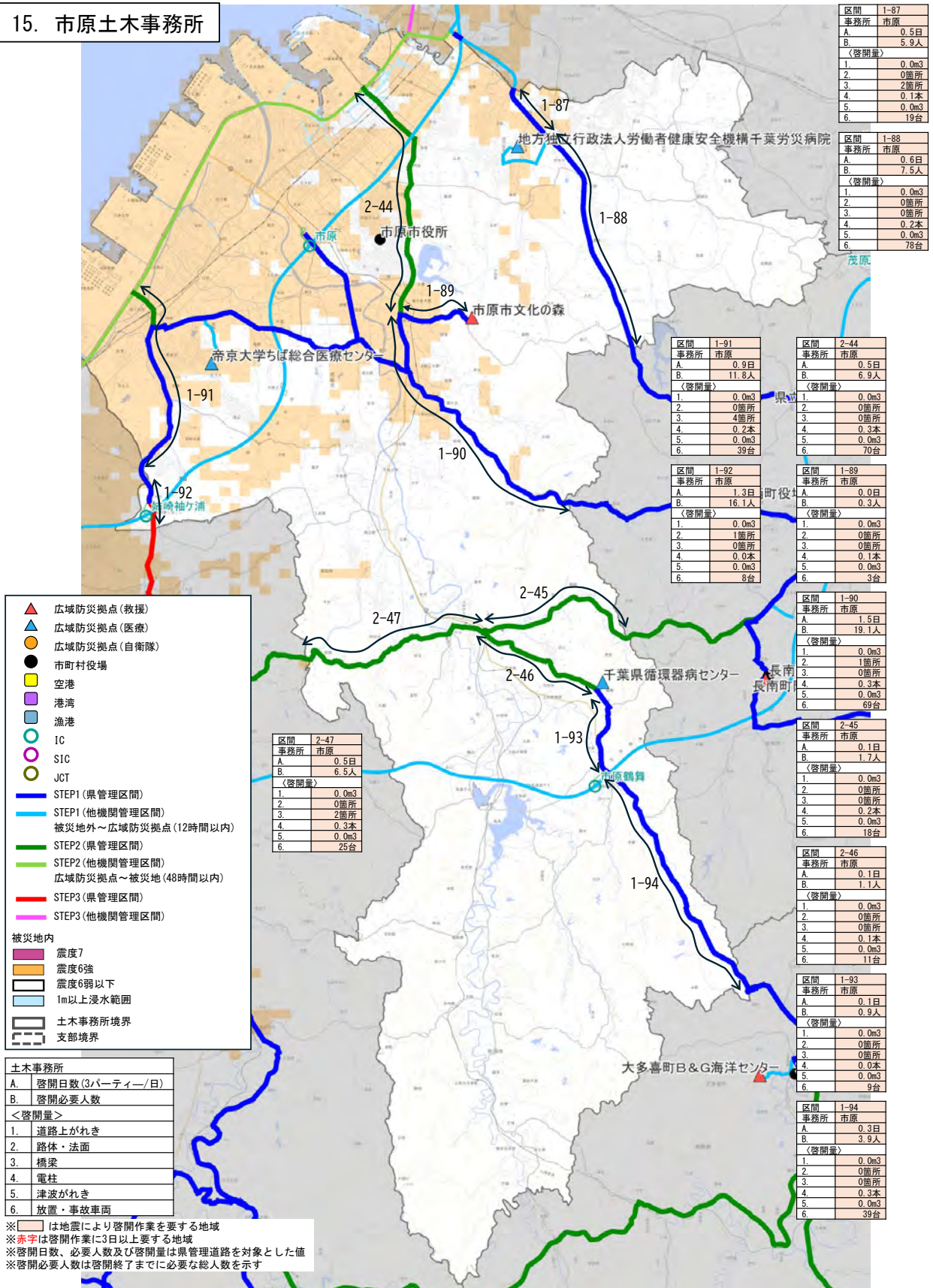


図 4.21 市原土木事務所での啓開候補ルート及び啓開量



## 4.2 道路啓開のタイムライン

前節で示した道路啓開のステップ（優先順位）に基づく道路啓開を行うため、道路啓開のタイムラインに基づいて、関係機関が行動、調整、連絡などを実施する。この際、各防災関係機関が、それぞれ違ったタイムラインを設定してしまうと弊害が生じるため、複数の機関が連携・協力のもとで対応にあたるような大規模災害については、時間目標の整合を図る必要がある。

表 4.5 タイムライン検討における関連計画との整合ポイント

関連計画	実施項目や経過時間
首都直下地震道路啓開計画（第4版） 令和5年7月	6h 段階で啓開開始
大規模災害時応援受援計画 令和4年4月	救援部隊拠点：12h 迄に開設 医療救護拠点：2 日目開始 救援物資拠点運営：3 日目開始 広域ボランティア拠点運営：3 日目開始
県土整備部震災実働マニュアル 平成30年8月	凡そ4h 段階で啓開開始
千葉県版くしの歯作戦 平成27年11月	1 日目：高速道路までは確保 2 日目：被災地へのアクセスを確保 3 日目：被災地沿岸部道路

図 4.22 に、千葉県道路啓開計画におけるタイムラインを示す。なお、発災時の道路啓開対応は、タイムラインを基本としつつも、実際の災害の状況に応じて、臨機応変な対応を行うものとする。

「タイムライン」とは、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」を、あらかじめ時系列で整理した防災行動計画と定義され、国、地方公共団体、企業、住民などが連携してタイムラインを策定することにより、災害時に連携した対応が行えるようにするためのものである。災害発生後、いつ誰が何をするかについて明らかにしたタイムラインを作成しておくことは、迅速な道路啓開を実施する上で、かつ啓開活動に従事するものの意識醸成の観点も含めてきわめて有効である。

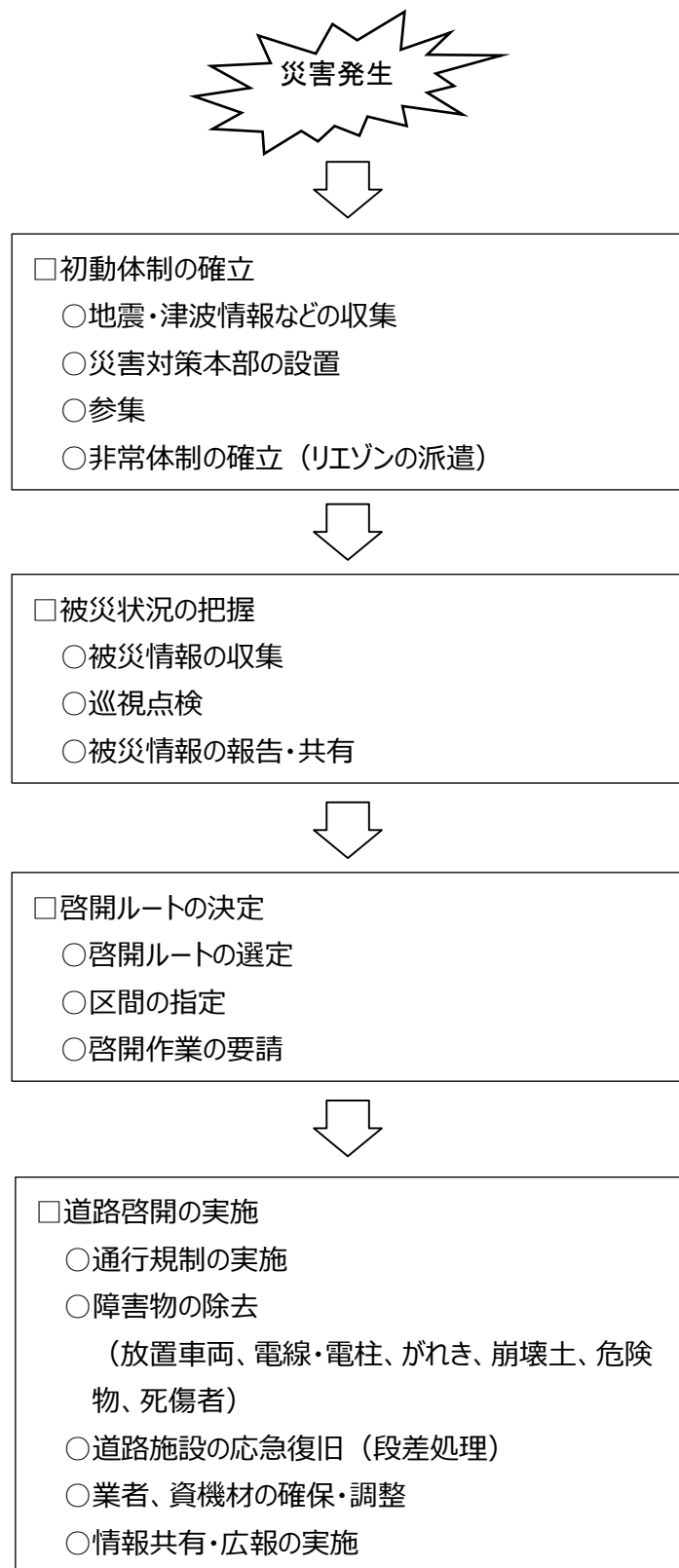
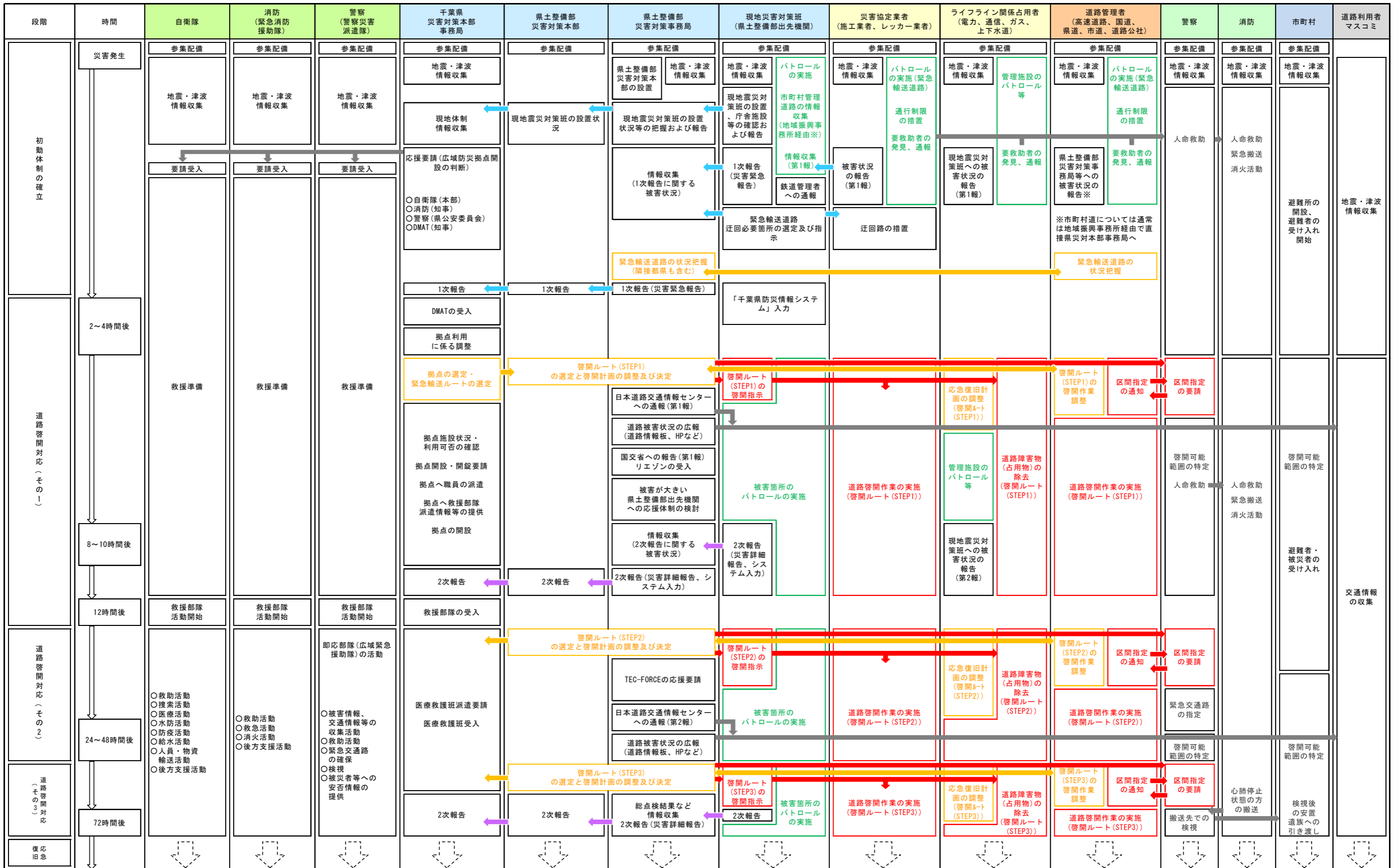


図 4.23 道路啓開に関する活動フロー



県土整備部出先機関：土木事務所等 災害協定業者：千葉県建設業協会、千葉県電業協会、千葉県造園緑化協会に所属する施工業者、ならびに千葉県レッカー事業協同組合  
 道路管理者：東日本高速道路、首都高速道路、国土交通省関東地方整備局（千葉県道事務所、首都国道事務所）、千葉県、千葉県道路公社、千葉市など  
 ライフライン関係占有者：東京電力、NTT東日本、東京ガス、上下水道事業管理者  
 啓開ルート（STEP1～3）以外の緊急輸送道路区間については、緊急物資の支援や復旧に向けて必要な拠点を結ぶルートであるため、道路啓開対応（その3）以降に順次啓開する。  
 文字色の違い：道路啓開の対応、道路啓開の状況把握・調整、パトロール関連、パトロール・道路啓開に付随する対応

## 4.3 道路啓開の活動内容

### (1) 被災状況の把握

○災害発生後、直ちに初動体制を確立、速やかに緊急輸送道路（1次路線、2次路線の順）を点検し、被災状況を把握する。

#### ◇ 点検実施者

- ・道路管理者（高速道路会社、国、県、市町村：各々の災害協定業者と協力して実施）
- ・ライフライン関係占有者（電力、通信、ガス、上下水道）

#### ◇ 把握する被災状況

- ・道路本体（段差・陥没・マンホール浮上）
- ・建物などの瓦礫
- ・路上車両（立ち往生、放置）
- ・電柱倒壊

等、緊急通行車両の通行可否を判断するための道路被害に関する情報

#### ◇ 津波への対応

- ・津波警報・大津波警報等が発表されている場合、津波浸水が想定される区間は巡視点検を行わない。
- ・当該区間の点検については、原則として、津波警報・大津波警報等や避難指示が解除されたことを判断基準とし、十分な安全対策を講じた後に実施。

## (2) 被災状況の集約

- 道路の被災状況に関する情報については、啓開ルート（STEP1～3）の選定の基礎となる重要な情報であることから、情報を入手次第、直ちに県災害対策本部事務局に報告し、道路啓開路線を主体となり検討・決定する県災害対策本部事務局に情報を集約する。
- 情報集約を行う際に用いる手段は、その時々通信手段などの状況に応じて臨機に対応することが重要である。
- 各関係機関の情報集約ルート
  - ◇ 直轄国道（千葉国道事務所、首都国道事務所）、東日本高速道路、首都高速道路各道路管理者 ⇒ 県土整備部災害対策事務局（県土整備部道路環境課）  
⇒ 県災害対策本部事務局
  - ◇ 千葉県  
災害協定業者 ⇒ 現地災害対策班（県土整備部出先機関）  
⇒ 県土整備部災害対策事務局  
⇒ 県災害対策本部事務局
  - ◇ 千葉県道路公社  
千葉県道路公社 ⇒ 県土整備部災害対策事務局  
⇒ 県災害対策本部事務局
  - ◇ 千葉市  
千葉市 ⇒ 県災害対策本部事務局（千葉県防災情報システムによる）
  - ◇ 千葉市以外の市町村  
各道路管理者 ⇒ 県災害対策本部事務局（千葉県防災情報システムによる）
  - ◇ 千葉市以外の市町村（重大な影響のある被害のみ）  
各道路管理者 ⇒ 県災害対策本部事務局（千葉県防災情報システムによる）  
現地災害対策班 ⇒ 県土整備部災害対策事務局  
⇒ 県災害対策本部事務局
  - ◇ ライフライン関係占有者  
ライフライン関係占有者 ⇒ 現地災害対策班  
⇒ 県土整備部災害対策事務局  
⇒ 県災害対策本部事務局

### (3) 啓開ルート の決定

図 4.24 に、大規模災害発生後の啓開ルートの選定手順を示す。

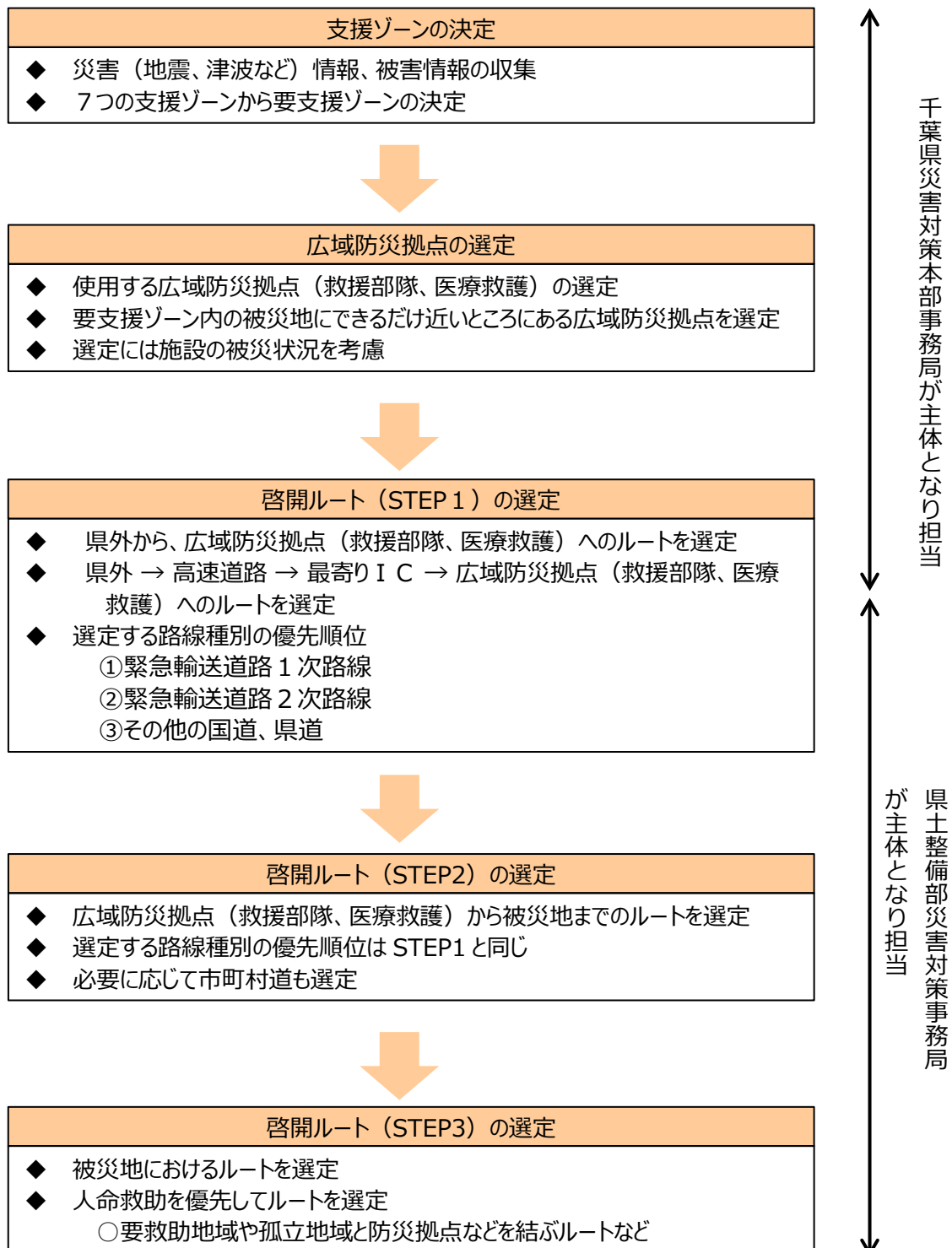


図 4.24 啓開ルートの選定手順の主な流れ

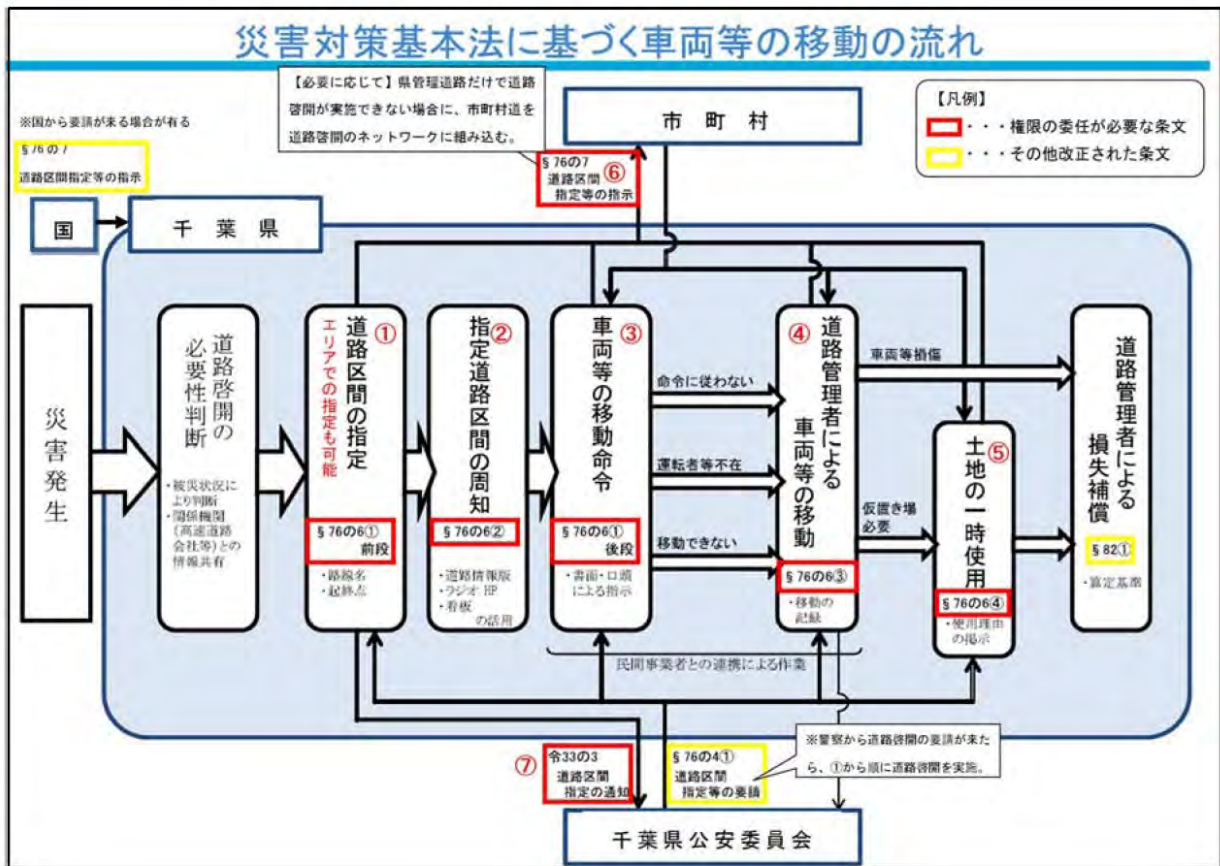


なお、啓開ルートの選定にあたっては、以下の事項を踏まえることとする。

- 千葉県災害対策本部事務局が主体となり、集約した本県内の被害状況に基づき、支援ゾーンを決定するとともに、隣接都県の被災状況などを勘案して、広域防災拠点（救援部隊、医療救護）の選定を行い、緊急輸送ルートを決する。
  - ・大規模災害時においては、一般道では大規模な混乱・渋滞が発生すると懸念されることから、県外からの応援部隊受入の進出口は、県境の高速道路（アクアライン、湾岸道路、京葉道路、外環道、常磐道、東関道、圏央道）を想定する。
  - ・選定した広域防災拠点に最も近いインターチェンジを確認し、インターチェンジから広域防災拠点までのルート、ならびに広域防災拠点から被災地へのルートを確認するとともに、通行支障の有無などの情報を収集・整理する。
- 県土整備部災害対策事務局が主体となり、上記緊急輸送ルートにおいて道路啓開が必要なルートを啓開ルート（STEP1）として設定し、広域防災拠点から被災地への啓開ルート（STEP2）、ならびに被災地における啓開ルート（STEP3）について、被災地における時々刻々と変化する状況を踏まえて選定を行い、千葉県災害対策本部事務局と調整する。
- 啓開ルートの選定にあたっては、国や県、市町村のパトロール結果に基づいて行い、大幅に啓開時間を要する区間は指定しないこととする。
- 啓開ルートが複数案ある場合は、道路の被災状況や走行条件にもよるが、短時間で啓開できるルート案の方を採用することを基本とする。
- 特に、啓開ルート（STEP1～STEP2）の道路啓開時においては、道路の被害状況や啓開状況、応急復旧の見込みなどの把握が不十分な状況の中で行われることが想定されることから、選定した啓開ルートが思った以上に被害が大きい場合や、近隣を迂回した方が早いと判断できる場合は、臨機応変に啓開ルートの変更措置を取るものとする。
- ここでは、救命・救援活動を支える緊急輸送体制を早期に確保することができるよう、緊急輸送道路を主体とした優先啓開ルートについて言及しているが、啓開ルート（STEP1～STEP3）以外の緊急輸送道路区間についても、緊急物資の支援や復旧に向けて必要な拠点を結ぶルートであるため、啓開ルート（STEP3）への対応が済み次第、順次啓開する。また、緊急輸送道路以外の道路についても順次啓開していくものとする。

#### (4) 災害対策基本法に基づく区間の指定

- 集約された被災情報をもとに、道路における車両の通行が停止し、または著しく停滞し、車両その他の物件が緊急通行車両の通行の妨害となることにより災害応急対策の実施に著しい支障が生じるおそれがあり、かつ、緊急通行車両の通行を確保するため緊急の必要があると認めるときは、各道路管理者は直ちに災害対策基本法第 76 条の 6 の規定に基づき、それぞれの管理する道路について、「区間の指定」を行う。
- 「区間の指定」は、それぞれの区間の路線名及び起終点を示して行う。なお、指定後も被災状況などに応じて、適宜、区間の追加、削除を行う。
- 「区間の指定」にあたり、災害対策基本法施行令第 33 条の 3 の規定に基づき、あらかじめもしくは事後において速やかに当該地域を管轄する県公安委員会に、道路区間及びその理由を通知する。なお、通知方法については、書面を原則とするが、やむを得ない場合には口頭で行うこととしても差し支えない。口頭の場合は、事後速やかに書面を送付する。
- 災害対策基本法第 76 条の 6 の規定に基づき、指定した区間は、関係機関や道路利用者に周知を行う。道路利用者に対しては、指定内容を以下の方法により周知する。
  - ◇ 道路情報板による情報提供
  - ◇ 日本道路交通情報センター（ラジオなど）を利用した情報提供
  - ◇ 指定区間に立て看板を掲出
  - ◇ ホームページ、記者発表など
- 県公安委員会が緊急交通路の指定を行うために、道路管理者に啓開（区間の指定及び車両などの移動などの措置）を要請することができる（災害対策基本法第 76 条の 4）。
- 図 4.25 に、本県における災害対策基本法に基づく区間の指定及びその後の車両等の移動の流れを示す。



### 専 決 区 分

条 文	内 容	区 分
① 法第76条の6第1項前段	道路区間の指定	部 長
② 法第76条の6第2項	指定道路区間の周知	課 長
③ 法第76条の6第1項後段	車両等の移動命令	課 長
④ 法第76条の6第3項	道路管理者による車両等の移動	課 長
⑤ 法第76条の6第4項	他人の土地の一時使用等	課 長
⑥ 法第76条の7	市町村道の道路管理者に指示	課 長
⑦ 令第33条の3第1項	公安委員会に通知	課 長

・ただし、全ての権限を土木事務所長に委任しており、土木事務所長も処理が可能。

・その場合、道路環境課へ詳細を報告し、調整のうえで処理を行う。

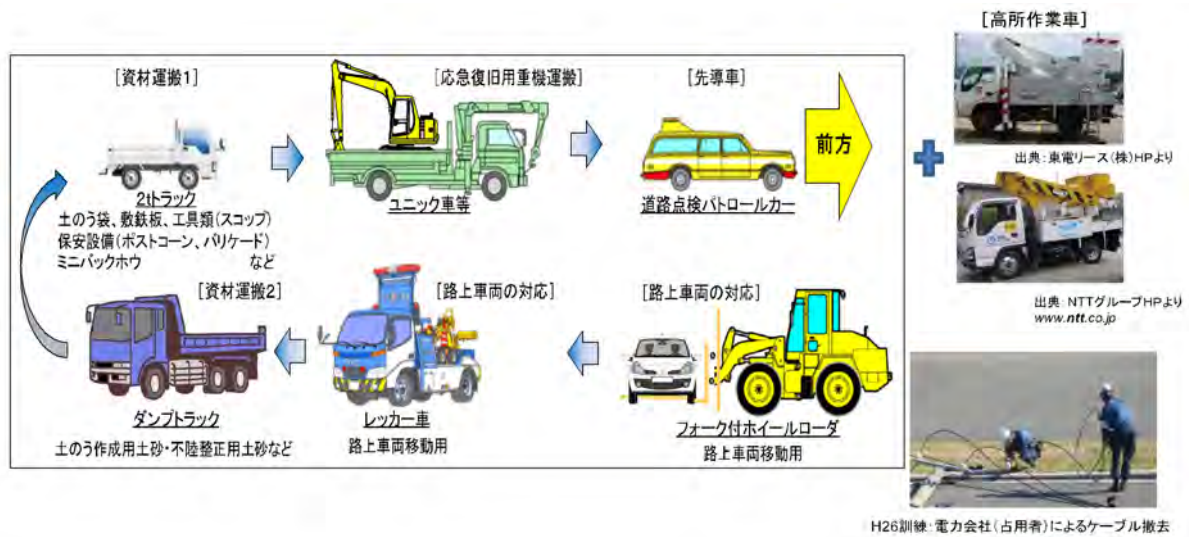
図 4.25 本県管理道路における道路区間指定の流れ

## (5) 啓開体制の確保

- 道路管理者は、指示された啓開ルートに基づき、発災前にあらかじめ国、県、市町村、高速道路会社との間で調整した道路啓開手順や作業体制、要請方法により、災害時に応急対策を行う災害協定業者に対して道路啓開の実施を要請する。
- 災害協定業者は、道路管理者からの要請に基づき、必要な人員、資機材などを確保し、道路啓開作業の実施に備える。
- 道路管理者は、必要な人員、資機材などの確保が困難な場合や、被災が大きいために対応が困難な場合は、上位機関と調整の上、他道路管理者、他都道府県、TEC-FORCE などに支援・協力を要請する。
- 道路啓開作業を実施するにあたって、支障となる物件の種類が担当分野外であるなど、災害協定業者が単独に対応できない場合は、道路管理者を通じて、警察、消防、自衛隊などの関係機関に協力を求める。

## (6) 道路啓開の実施

- 「区間の指定」などの通行規制を実施した際には、一般車両などの進入防止措置を行った上で道路啓開作業を実施する。道路啓開の実行部隊の班編制は、次図に示す編制を基本とする。なお、実際の啓開時には迅速な道路啓開作業を目的として、必ずしも全ての車両がそろわなくても柔軟に対応することとなる。



出典：首都直下地震道路啓開計画検討協議会：首都直下地震道路啓開計画

図 4.26 道路啓開部隊の編制例（一般道のイメージ）

## ①がれき撤去

- 道路上に散乱した建物のがれきなどは、道路法第 42 条もしくは災害対策基本法第 76 条の 6 を根拠法として、道路管理者及び道路管理者から指示を受けた災害協定業者が除去する。
- 基本的には道路上に存在する工作物をがれきなどとして撤去するが、撤去を行う場合には可能ならば、あらかじめ当該工作物の所有者の同意を得るとともに、損失の補償を行わないことへの了解を得るように努める。
- がれきなどの中に残存する財産物（有価物）などの処理は、所有者の立ち会いや同意の下、実施することを基本とする。所有者などの所在が不明の場合は、道路管理者と災害協定業者で調整の上、市町村職員、警察官の立ち会いや協力の下、回収に努める。なお、発見時の状態を追って確認できるように記録（写真撮影や位置、状態など）した上で、啓開作業を進める。
- がれきなどの中に残存する危険物は、道路管理者と災害協定業者で調整の上、自衛隊、警察、消防に除去、保安を依頼する。

## ②負傷者・遺体

- がれきなどの中に遺体・負傷者を発見した場合は啓開作業を中断し、道路管理者と災害協定業者で調整の上、市町村または警察、消防などに処置を依頼する。
- 人命の救助及び負傷者の救護に関しては、道路管理者と市町村、警察、消防、自衛隊が緊密に連携して捜索を行う。
- 役割分担として啓開業者は、死傷者の処置が確保されているときは、啓開作業の進捗を図るため、作業を継続して進める。

### ③車両移動

- 道路管理者は、災害対策基本法第 76 条の 6 に基づき、車両の移動などを行うための道路区間の指定を行い、千葉県公安委員会に通知する。
- 道路管理者は、車両の所有者などに対し、付近の道路外への移動などの措置を命じる。
- 所有者による移動が困難な場合は、道路管理者・災害協定業者などが車両の移動を行う。
- 車両を移動する場合には、移動前後の状態を写真及び記録票などにより記録し、車両にその旨を掲示する。
- 道路管理者自らが車両の移動などを行った場合は、当該地域を管轄する警察署長に対して、適切に当該措置を記録した情報の提供を行う。



図 4.27 車両移動に関する作業例



#### ④電柱の移動

- 電柱などが倒壊し道路の閉塞が確認された場合は、道路管理者と災害協定業者で調整の上、電柱管理者である電気事業者及び電気通信事業者にケーブルの安全処置を要請する。
- 電気事業者及び電気通信事業者による通電有無及び通信有無の確認の後、道路管理者及び災害協定業者がケーブルや電柱の仮移動を行う。道路啓開作業者は、通電無しの確認ができない場合は感電等の危険があるため、ケーブル等に近づかない。



図 4.28 電柱の移動に関する作業例

## (7) 発災後の広報の実施

道路管理者は、発災直後から道路利用者に対して様々な方法で情報提供を行う。

### ①発災直後

- 道路管理者は、発災直後に、津波浸水想定区間への進入防止、津波浸水想定区間内からの退避誘導、車両の利用抑制を道路利用者伝える必要がある。
- 道路情報板、標識、立て看板、インターネット（ホームページ、SNS など）、テレビ、ラジオ（日本道路交通情報センターなど）などを活用する。

### ②通行規制後

- 道路管理者は、地震による道路の被害や津波による浸水、がれきの堆積などが発生し、通行規制を実施する場合には、道路利用者へ広報を行う。
- 道路情報板、立て看板、インターネット（ホームページ、SNS など）、記者発表、テレビ、ラジオ（日本道路交通情報センターなど）などを活用する。

### ③区間指定後

- 道路管理者は、災害対策基本法第 76 条の 6 に基づいて道路区間の指定をしたときには、道路利用者へその旨を周知する必要がある。
- 道路情報板、立て看板、インターネット（ホームページなど）、記者発表、ラジオ（日本道路交通情報センターなど）などを活用する。

### ④啓開作業着手後

- 道路管理者は、道路利用者や県民に対して、被災状況、啓開作業の進捗状況、復旧見込み、迂回路情報を広報する。
- インターネット（ホームページなど）、記者発表、立て看板、掲示板などを活用する。



出典：東北地方整備局：震災伝承館

図 4.29 道路利用者への情報提供イメージ